

HD92 取扱説明書 目次

目次	1	システム	48
使用方法	2	設定	51
安全情報	10	設定 HDMI Link設定	53
事前注意	11	設定 信号 (VGA)	55
目の安全に関する警告	14	設定 信号 (ビデオ)	56
柔軟な角度設定	14	付録	57
はじめに	15	トラブルシューティング	57
パッケージの概要	15	画像の問題	57
製品の各部名称	16	その他の問題	59
本体	16	リモコンの問題	59
入/出力 接続端子	17	LED 点灯メッセージ	60
リモコン	18	オンスクリーン メッセージ	61
設置方法	19	互換モード	62
プロジェクタへの接続	19	RS232 コマンドとプロトコル	
コンピュータ / ノートパソコンへの		機能リスト	64
接続	19	RS232ピン割り当て	64
ビデオソースへの接続	20	RS232プロトコル機能リスト	65
3D ビデオデバイスへの接続	21	天井への取り付け	68
3D眼鏡の使用	23	Optoma社グローバルオフィス	69
プロジェクタの電源オン/オフ	24	規制と安全に関する通知	71
プロジェクタの電源オン	24	FCC通告	71
プロジェクタの電源を切る	25	EU諸国への適合宣言	72
警告インジケータ	26	商標	73
投射画像の調整	27		
プロジェクタの高さを調整する	27		
プロジェクタの位置を調整する	28		
ユーザー管理	30		
コントロール パネルおよびリモコン	30		
コントロール パネル	30		
リモコン	31		
オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニュー	33		
操作方法	33		
メニュー ツリー (階層)	34		
イメージ	36		
イメージ 詳細設定	38		
イメージ 詳細設定 PureEngine	39		
イメージ 詳細設定 色設定	40		
ディスプレイ	42		
ディスプレイ 3D設定	47		

使用方法

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
--	---

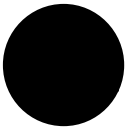
●絵記号の意味

 この記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例)  「感電注意」を表す絵表示

 この記号は禁止の行為(やってはいけないこと)を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「分解禁止」を表す絵表示

 この記号は必ず行っていきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

使用方法

注意



禁止

本製品は以下のようなところ(環境)で使用および保管をしないでください。

故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い(じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど)場所での使用(保管時は問題ありません)
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ(台所、浴室、水辺、海岸など)
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒーター、コンロなど)
- 強い磁力電波の影響を受けるところ(磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く)
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所



禁止

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



厳守

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。



厳守

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてください。

使用方法



厳守

長時間に渡って映像を見る場合は一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。



禁止

排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。



禁止

指定の電池(単3型乾電池)以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。



厳守

電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。



厳守

取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。(電池には＋極と－極があります。)故障の原因となります。



注意

本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

使用方法

警告



煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。



水濡れ禁止

本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。



厳守

本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。



禁止

本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔(レンズに向かって右側面と、背面)に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。



禁止

本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となることがあります。



厳守

温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。



分解禁止

改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。



禁止

本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。



禁止

ぶついたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



禁止

使用中はレンズをのぞかないでください。レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

使用方法



禁止

本製品は下記のようなところで使用しないでください。
故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わる場所
- 不安定な場所
- 通気孔(レンズに向かって右側面と、背面)がふさがるところ
- 温度差の激しい場所
- 水分や湿気の多い場所
- 温度が高い場所



禁止

使用中や使用後は排気孔(レンズのある面)およびその回り、設置台が熱くなります。
やけどの原因になりますので、触らないでください。



禁止

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない



厳守

電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。



厳守

電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

使用方法



禁止

電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいたり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。



厳守

電池は小さな子どもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因となります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。



禁止

(+)(-)を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。



厳守

電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。



禁止

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。
液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。



厳守

電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。



注意



発火注意



厳守

本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

使用方法

設置場所について

本プロジェクタは 131Wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔(レンズに向かって右側面と背面)をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高温になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具(ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど)の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを十分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約20,000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではありません。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows VISTAは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会



(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置で

す。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こす

ことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使用方法

安全情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

クラスB放出限度

当クラスB デジタル機器はカナダ電波障害発生機器規約の全ての条件を満たしています。

安全に関するご注意

1. 通気孔を塞がないでください。プロジェクタを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクタを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
2. プロジェクタは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。火事や感電のリスクがありますので、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
6. 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです(ただしこれらに限定されません):
 - 装置を落とした。
 - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
 - プロジェクタに液体をこぼした。
 - プロジェクタを、雨や湿気にさらしてしまった。
 - プロジェクタ内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

お客様自身でこのプロジェクタを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、グローバルオフィス(P69,70)にお電話ください。

7. プロジェクタ内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクタの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

事前注意



この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

■ 警告-

LED点灯中は、プロジェクタレンズをのぞいてはいけません。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。

■ 警告-

火災や感電の原因となるため、本プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。

■ 警告-

プロジェクタのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。

■ 警告-

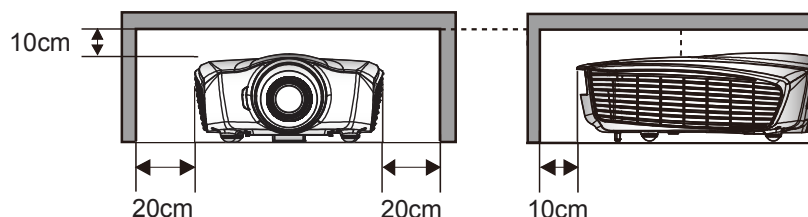
プロジェクタの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクタは、少なくとも10秒間、放熱させてください。

■ 警告-

プロジェクタの動作中に、レンズキャップを取り付けないでください。

■ 警告-

プロジェクタキャビネットの上部、側面、裏面に適切な広さの空間を設けることは、装置の適切な空気循環と冷却にとってきわめて重要です。ここに示した寸法は、必須最小空間を意味します。プロジェクタをコンパートメントに組み込む場合または同じように密閉される場合、これらの最小距離を保つ必要があります。



使用方法

推奨事項：

- ❖ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ❖ プロジェクタの筐体を洗淨する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。
- ❖ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項：

- ❖ 本体の通気用のスロットや開口部を塞がないでください。
- ❖ 当機器を研磨剤、ワックス、溶剤で洗淨しないでください。
- ❖ 以下のような環境下では使用しないでください：
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - ▶ 室温が 5°C～40°C の範囲に保たれていることを確認します
 - ▶ 相対湿度は10%～85%の範囲です
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
 - 直射日光の当たる場所。

3D機能を用いて3Dプロジェクタを見る

重要な安全情報。ご自身で、又はお子様が3D機能を使用される前に、以下の警告をお読みください。

警告

- ❖ 幼児及び10代の方は3D鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- ❖ プロジェクタの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- ❖ てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- ❖ 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の3D機能のご使用はお控えください。

使用方法

- ❖ 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに3D映像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、(10) 見当識障害。幼児及び10代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- ❖ 3D映像の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低30分はご使用をお控えください。
- ❖ 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 映像を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低3倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- ❖ 3D眼鏡をかけながらの長時間にわたる3D映像の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D映像の鑑賞を中止し、休憩してください。
- ❖ 3D映像の鑑賞以外の目的での3D眼鏡のご使用はお止めください。その他目的(通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど)のための3D眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、資力の低下をもたらす恐れがあります。
- ❖ 3D映像の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に3Dプロジェクタを設置しないでください。

使用方法

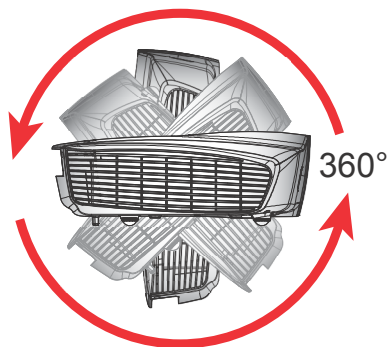
目の安全に関する警告



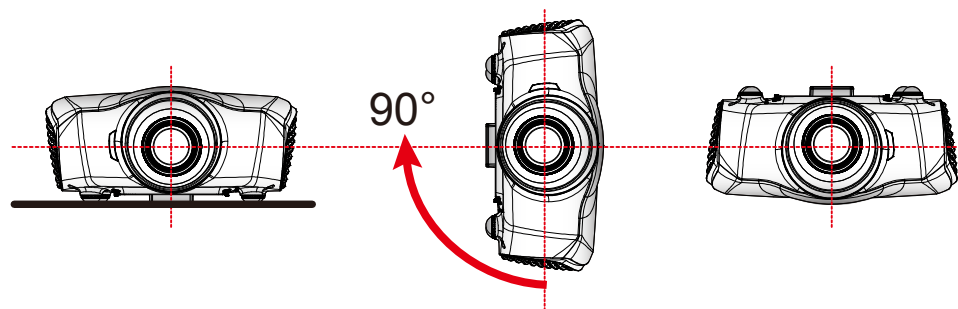
- 常にプロジェクタの光線をまっすぐ見つめたり、光線の方角に直接向くことは避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクタを教室で使用する際に、画面上の何かを指し示すことを学生に求める場合は、適切に指導してください。
- ランプの消費電力を最小限に抑えるために、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

柔軟な角度設定

- 縦方向の使用可能な角度

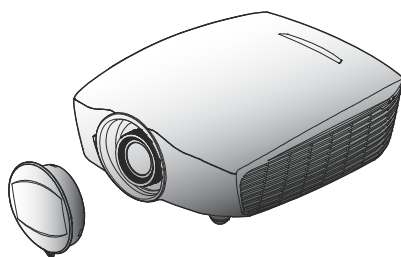


- 横方向の使用可能な角度

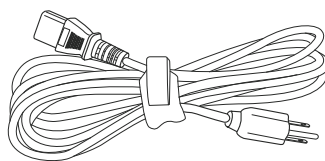


パッケージの概要

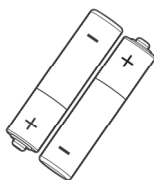
箱を開け、中身をよく確認し、以下の付属品がすべて入っているかどうか確かめください。万が一不足品がある場合は、Optoma カスタマーサービスまでお問合せください。



レンズ キャップ付
プロジェクタ



電源コード



単 3 電池(2本)



IR リモコン
(リモコンはモデルによって
異なることがあります)



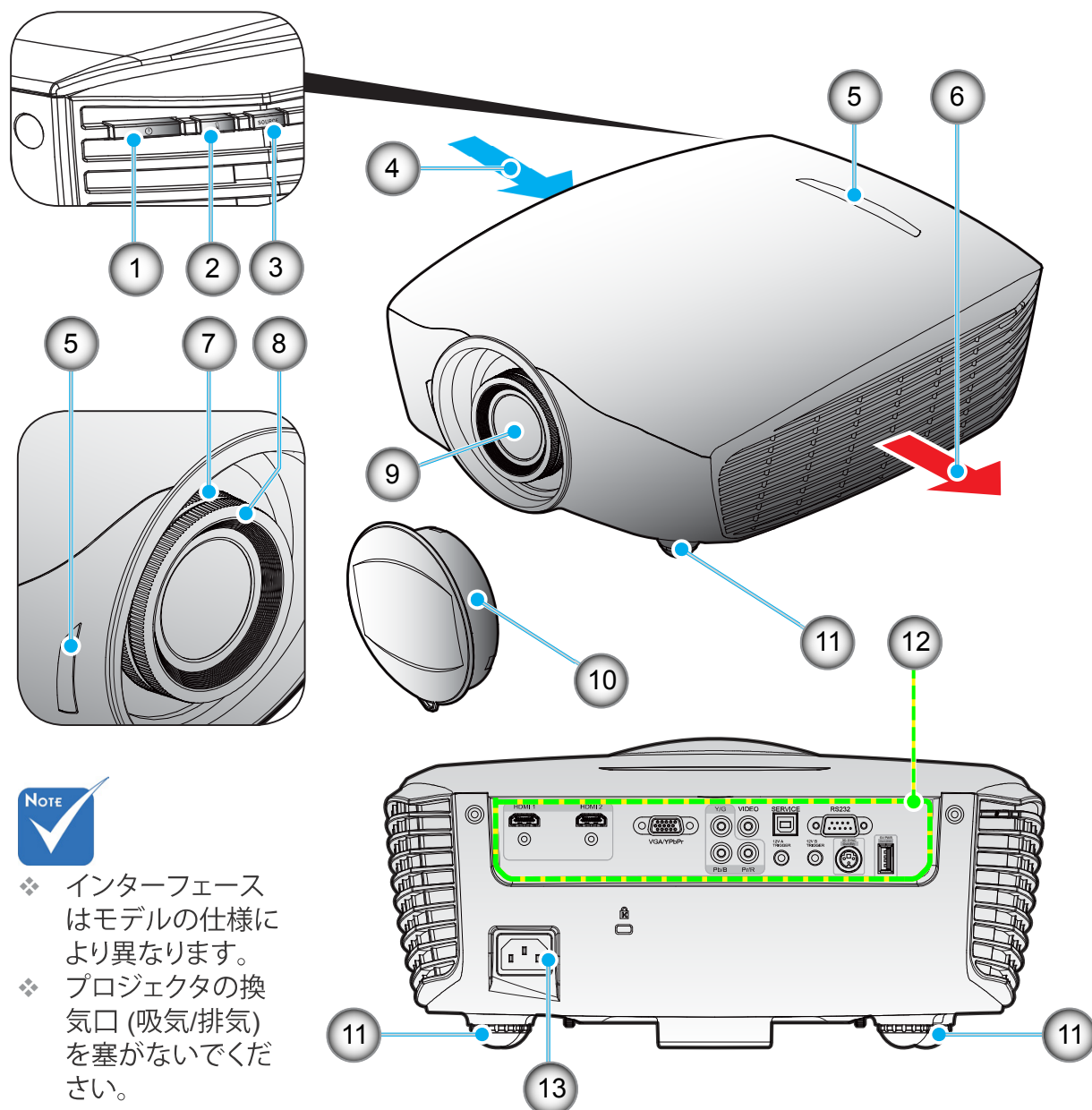
- ❖ 国によってアプリケーションが異なるため、一部の地域では別のアクセサリが付く場合があります。

文書:

- ☒ 保証書
- ☒ クイック スタート カード
- ☒ 取扱説明書

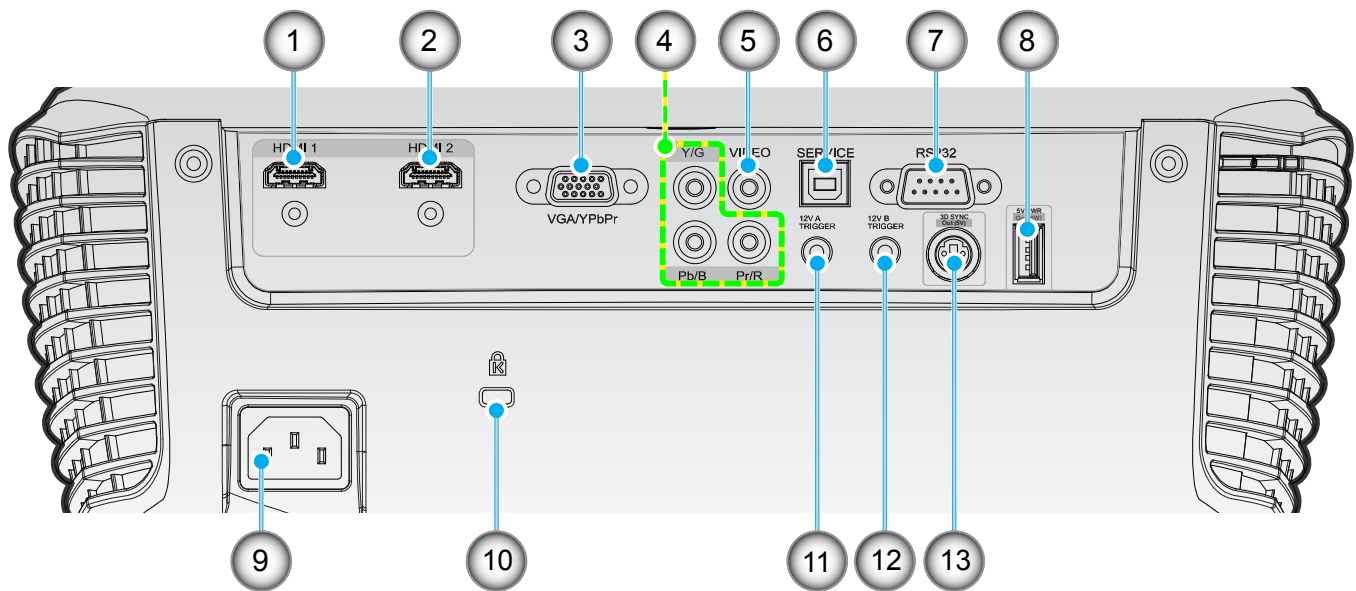
製品の各部名称

本体



- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 電源ボタン/電源LED | 8. フォーカス リング |
| 2. 温度インジケータ LED | 9. レンズ |
| 3. ソースボタン | 10. レンズキャップ |
| 4. 換気(吸気口) | 11. チルト調整フット |
| 5. 赤外線レーザー | 12. 入/出力 接続端子 |
| 6. 換気(排気口) | 13. 電源ソケット |
| 7. ズーム リング | |

入/出力 接続端子



1. HDMI 1 コネクタ (v1.4a 3D のサポート)
2. HDMI 2 コネクタ (v1.4a 3D のサポート)
3. VGA-In/YPbPr端子
(PC アナログ信号/コンポーネントビデオ入力/HDTV/YPbPr 用)
4. コンポーネントビデオ入力端子(YPbPr)
5. コンポジット ビデオ入力端子
6. ファームウェアアップグレード用の USB
7. RS-232 コネクタ(9 ピン)
8. 電源(5V@1.2A)用のUSB
9. 電源ソケット
10. Kensington™ ロック ポート
11. 12VトリガAリレー端子(12V, 250mA 3.5mmミニジャック)
12. 12VトリガBリレー端子(12V, 250mA 3.5mmミニジャック)
13. 3D同期出力(5V)



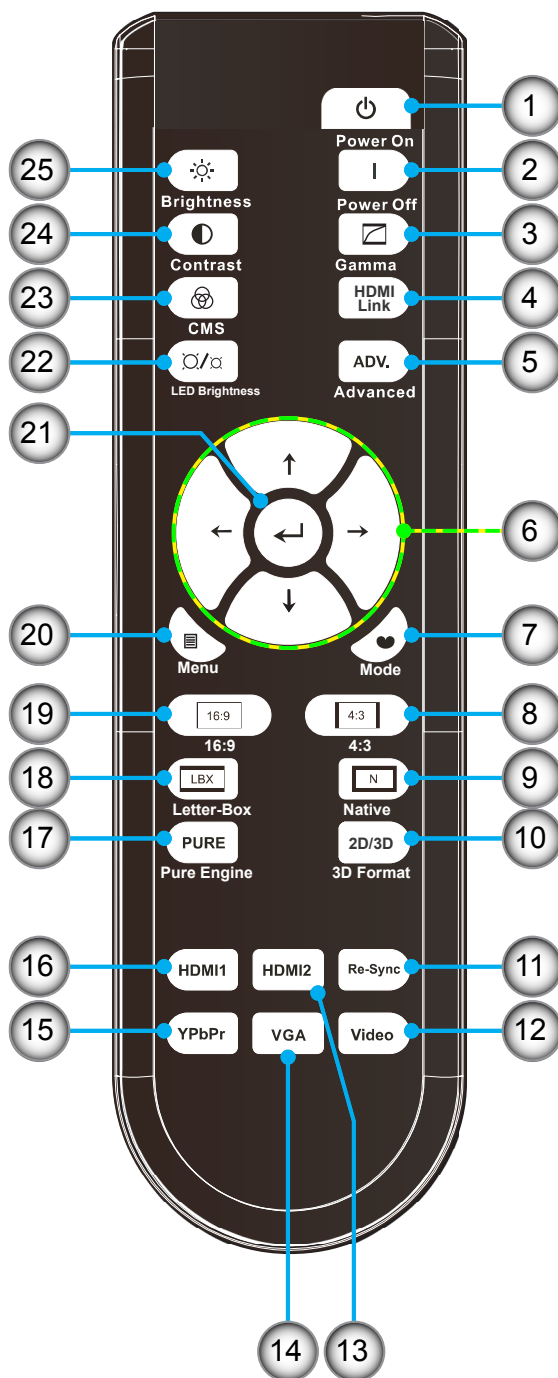
❖ インターフェースはモデルの仕様により異なります。

はじめに

リモコン



❖ リモコンはモデルの仕様により異なります。



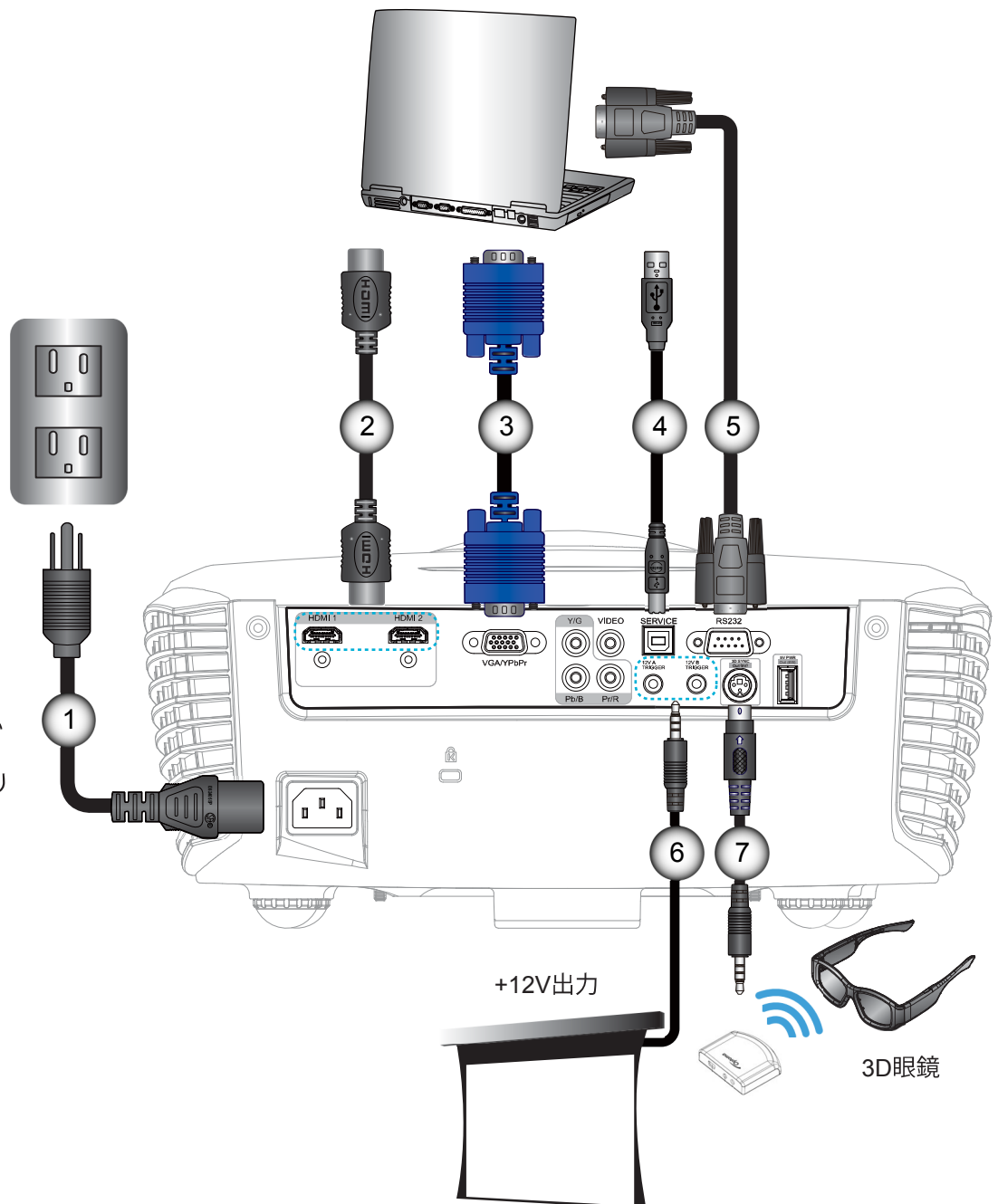
1. 電源オン
2. 電源オフ
3. ガンマ
4. HDMI Link
5. 詳細設定
6. 4方向選択キー
7. モード
8. 4:3
9. Native
10. 3D映像フォーマット
11. 再同期
12. ビデオソース
13. HDMI2 ソース
14. VGA ソース
15. YPbPrソース
16. HDMI1 ソース
17. PureEngine
18. LBX
19. 16:9
20. メニュー
21. 入力する
22. LED動作輝度
23. CMS (色管理システム)
24. コントラスト
25. 輝度

プロジェクタへの接続

コンピュータ / ノートパソコンへの接続



- ❖ 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- ❖ (*) オプションアクセサリ

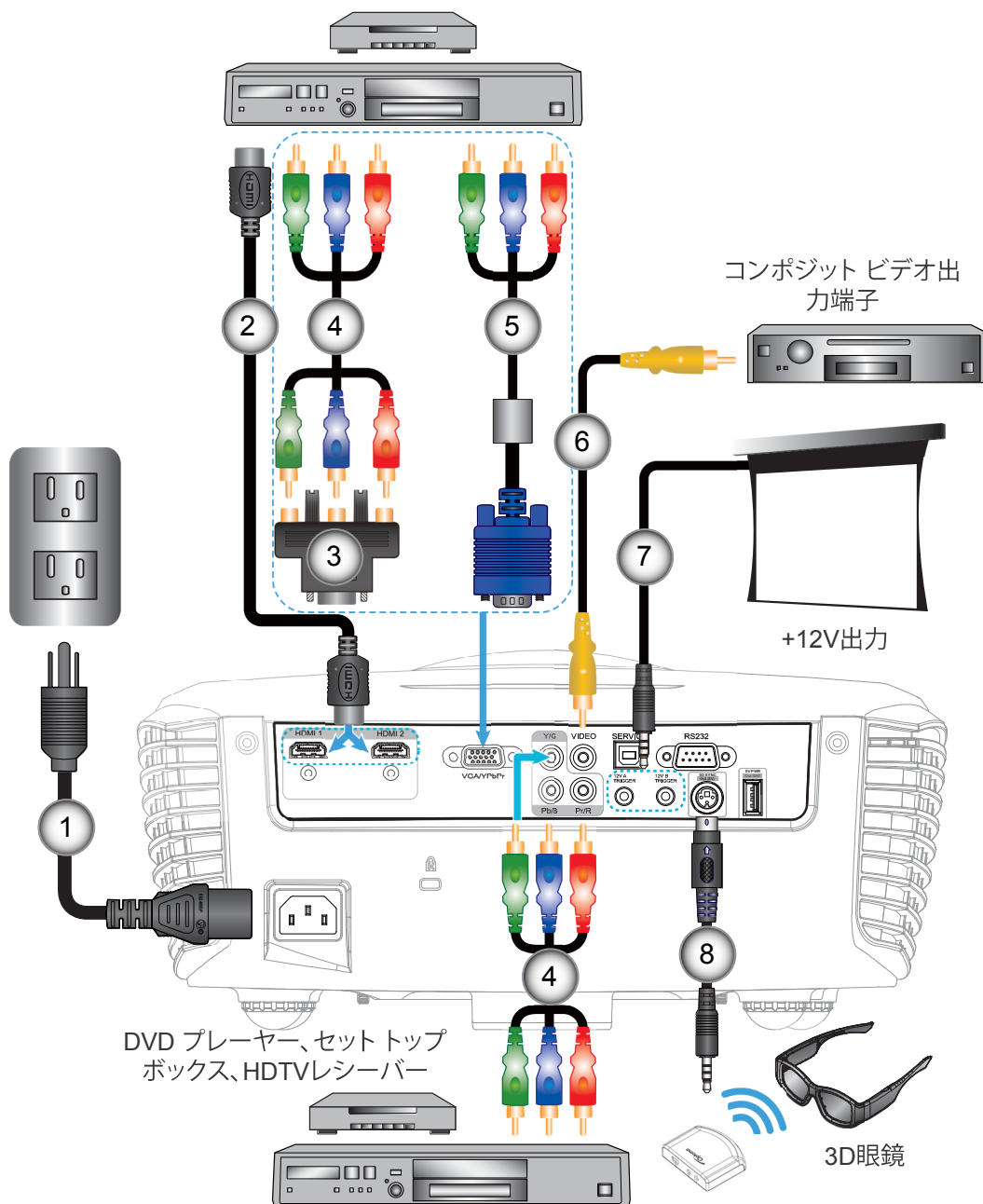


- | | |
|--------|---------------|
| 1..... | 電源コード |
| 2..... | *HDMI ケーブル |
| 3..... | *VGA ケーブル |
| 4..... | *USB ケーブル |
| 5..... | *RS232 ケーブル |
| 6..... | *12V DCジャック |
| 7..... | *3D エミッターケーブル |

設置方法

ビデオソースへの接続

DVD プレーヤー、セット トップ
ボックス、HDTV レシーバー



- ❖ 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- ❖ 3D エミッターと 3D 眼鏡への接続の詳細については、それぞれのユーザーガイドを参照してください。
- ❖ Blu-ray 3D プレーヤーを接続するには、HDMI ケーブルを使用してください。
- ❖ (*) オプションアクセサリ

- | | |
|--------|---------------------|
| 1..... | 電源コード |
| 2..... | *HDMI ケーブル |
| 3..... | *VGA/RCA アダプタ |
| 4..... | *3 RCA コンポーネント ケーブル |
| 5..... | *VGA/RCA ケーブル |
| 6..... | *コンポジット ビデオ ケーブル |
| 7..... | *12V DCジャック |
| 8..... | *3D エミッターケーブル |

3D ビデオデバイスへの接続



- ❖ 3Dビデオソース機器は、3Dプロジェクタの前に、必ず電源を入れてください。

図のようにHDMIケーブルと機器を接続した場合、使用準備完了となります。3D ビデオソースと 3D プロジェクタの電源をオンにします。

プレイステーション® 3

- 最新ソフトウェアバージョン向けにコンソールをアップデートされたか、ご確認ください。
- [設定メニュー -> 表示設定-> ビデオ出力-> HDMI]へお進みください。[自動的]を選択し、画面上の指示に従ってください。
- 3Dゲームのディスクを挿入ください。または、プレイステーション®ネットワーク経由でゲームをダウンロード(及び3Dのアップデート)することができます。
- ネットワーク ゲームのスタート。ゲームメニューで[3Dを起動]を選択ください。

Blu-ray 3D™ プレーヤー

- ご自身のプレーヤーが3D Blu-ray™ ディスクに対応し、3D出力が可能か、ご確認ください。
- 3D Blu-ray™ ディスクをプレーヤーに挿入し、[プレイ]を押してください。

3D TV (例、SKY 3D、DirecTV)

- ご自身のチャンネルパッケージにおいて、3Dチャンネルがあるかどうか、TV プログラムサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 使用可能となった場合、3Dチャンネルに切り替えてください。
- 並行する2つの画像が出現します。
- 3D プロジェクタの [Side By Side モード] に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレイ」セクションにあります。

2D 1080i Side By Side信号出力を伴う3D 機器(例、3D DV/DC)

- 3D機器に接続し、2D Side By Side出力を伴う 3D コンテンツから 3D プロジェクタに切り替えてください。
 - 並行する2つの画像が出現します。
- 3D プロジェクタの [Side By Side モード] に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレイ」セクションにあります。



- ❖ 入力ビデオが通常の2Dの場合、[3D 映像フォーマット] にするために [自動] に切り替えてください。
- ❖ [Side By Side モード] が作動している場合、2Dビデオの内容は正しく表示されません。

HDMI 1.4a ソース (例、3D Blu-ray) から 3D コンテンツを鑑賞する場合、常に 3D 眼鏡を同期する必要があります。HDMI 1.3 ソースから 3D コンテンツ (例、Side By Side モードを使用する 3D 放送) を鑑賞している場合、3D を最適化するために、プロジェクタの 3D 同期反転オプションを使用する必要があります。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレイ -> 3D」セクションにあります。

設置方法





❖ 更に詳細の情報につきましては、3D眼鏡ユーザーガイドをご参照ください。

3D眼鏡の使用

1. 3D眼鏡をオンにする。
2. 3D接続の検証がプロジェクタに送られ、信号がプロジェクタの仕様に対応します。
3. [3D モード]をオンにします。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレイ」セクションにあります。
4. 3D 眼鏡をオンにすると、快適な3D映像を楽しむことができます。
5. 3Dで画像が表示されない場合、3D 画像が送信されているかどうか、3D機器設定をよくお確かめください。または、入力信号が2D 1080i Side By Sideの際、[Side By Side モード]がオンとなっているかお確かめの上、上述の1～4のステップを再試行してください。
6. 3D映像が正しく表示されない場合は3Dメガネの同期を反転させると解決する場合があります。プロジェクタの「3D同期反転」はOSDメニューの「ディスプレイ」セクションにあります。
7. 3D眼鏡をオフにする。
8. 設定についての更なる情報につきましては、3D眼鏡ユーザーガイドまたはメーカーサイトをご参照ください。

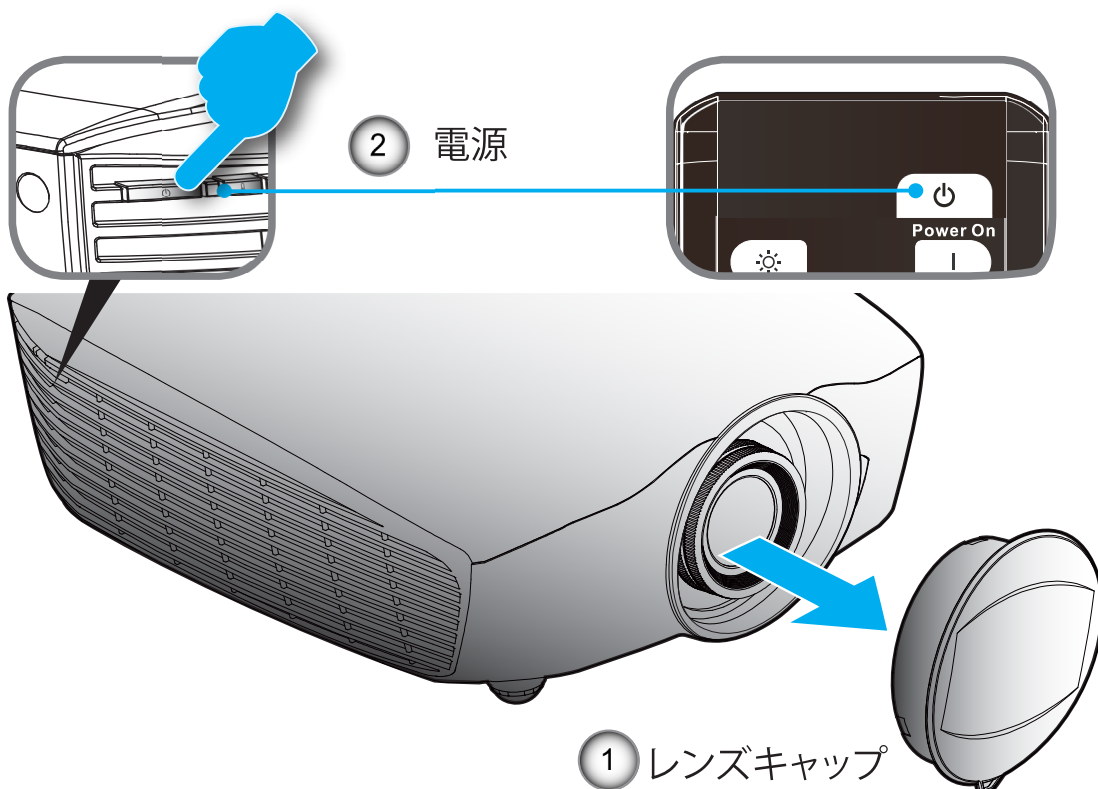
プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源オン

1. レンズ キャップを取り外します。❶
 2. 電源コードと信号ケーブルをしっかりと接続します。正しく接続されると、電源 LED が赤く点灯します。
 3. プロジェクタ側面またはリモコンの [⏻] ボタンを押して、ランプの電源を入れます。電源 LED が青に点灯します。❷
起動画面は約 10 秒後に表示されます。プロジェクタを初めて使用するとき、使用言語を選択するように求められます。
 4. スクリーンに表示させたい(コンピュータ、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど)ソースの電源を入れて、接続します。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。検出されない場合、[メニュー] ボタンを押して、[設定] を開きます。
[ソースロック] が [オフ] になっていることを確認します。
- ❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロール パネルの [ソース] ボタンを押すか、またはリモコンの [ソース] ボタンを押すと、入力を切り換えることができます。

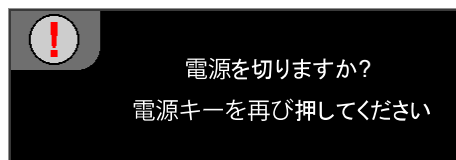


- ❖ まず、プロジェクタの電源を入れた後、信号ソースを選択します。



プロジェクタの電源を切る

1. リモコンの [I] ボタンまたはプロジェクタ側面の [⏻] ボタンを1秒間隔で2度押すと、プロジェクタの電源が切れます。画面上に次のメッセージが表示されます。



- [I] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [I] ボタンを押すと、プロジェクタはシャットダウンします。
2. 冷却ファンが冷却サイクルを終了するまで約10秒間動作を続け、電源LEDは青く点滅します。電源LEDが赤く点灯すると、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。
プロジェクタの電源を再び入れたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクタを立ち上げることができます。
 3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクタから抜きます。
 4. 電源を切った直後は、プロジェクタの電源を入れないでください。

設置方法



- ❖ プロジェクターにこれらの症状が現れる場合は、お近くのサービスセンターまでご連絡ください。詳細は、69-70 ページを参照してください。

警告インジケータ

警告インジケータ (以下を参照) がオンになると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします:

- ❖ 「電源」LEDインジケータは赤く点滅します。
- ❖ 「温度」LEDインジケータが赤く点灯し、「電源」LEDインジケータが赤く点滅している場合。この状態は、プロジェクタが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクタのスイッチをオンにすることができます。
- ❖ 「温度」LEDインジケータが赤く点滅し、「電源」LEDインジケータが赤く点滅している場合。

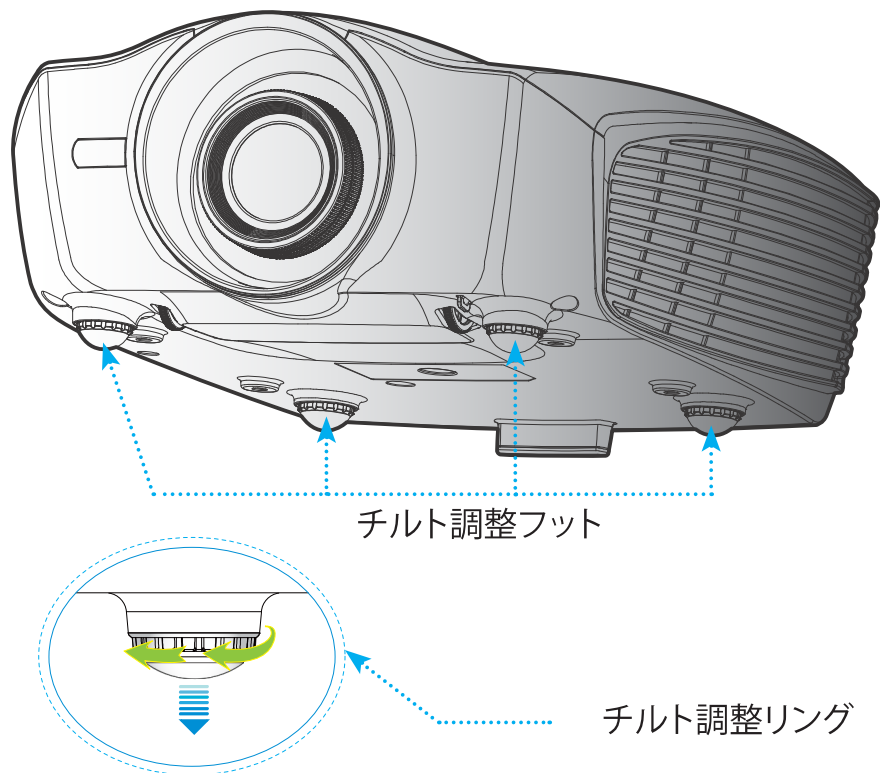
プロジェクタから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが再び点灯したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

投射画像の調整

プロジェクタの高さを調整する

本プロジェクタには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

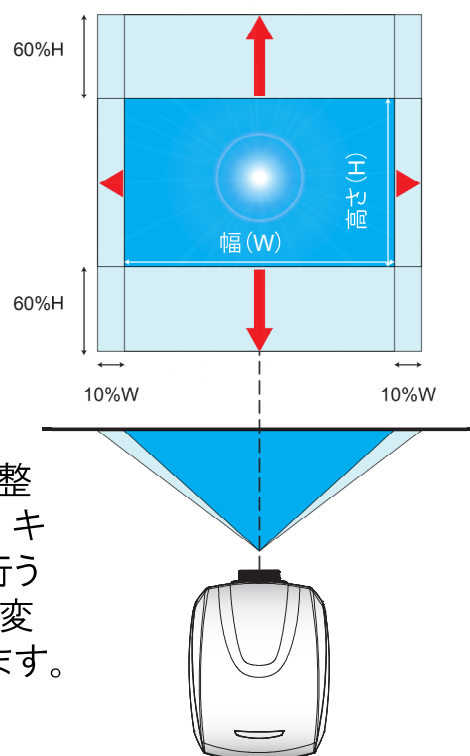
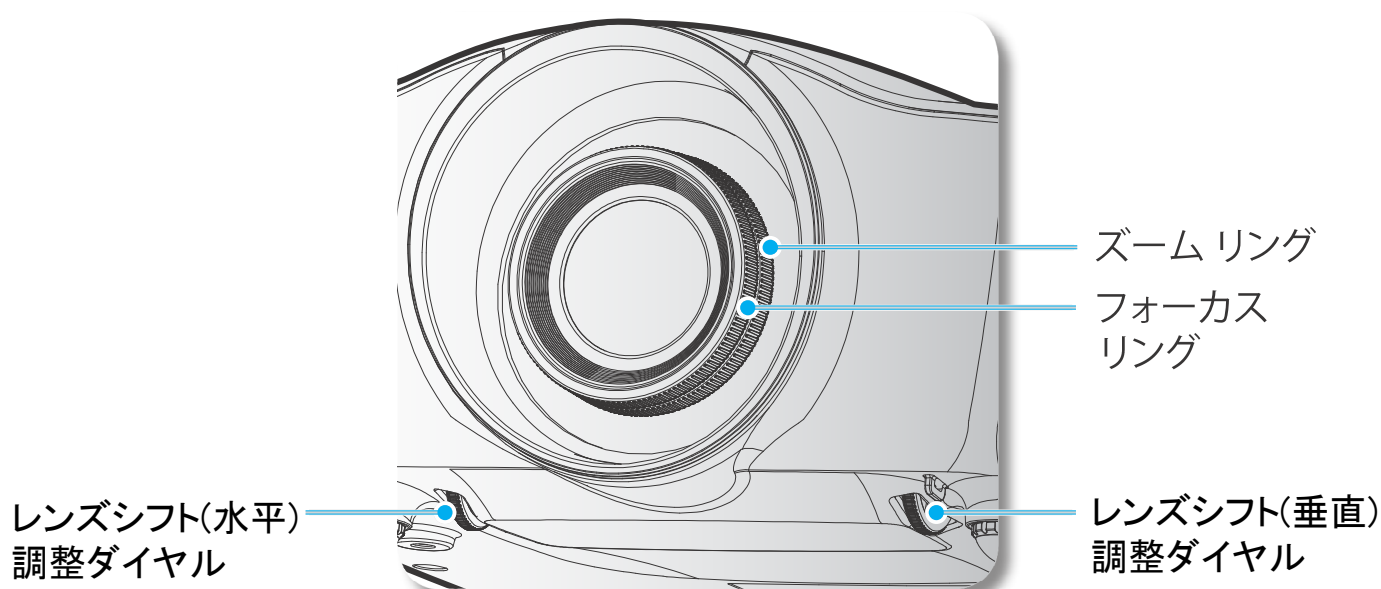
1. プロジェクタの底面の、変更したい調整フットを選びます。
2. 調整リングを本体底面から見て、反時計周りに回すとプロジェクタの高さが高くなり、時計周りに回すと高さが下がります。必要に応じて、残りの足についてもこの手順を繰り返します。



設置方法

プロジェクタの位置を調整する

プロジェクタの設置位置を決定するには、画面のサイズと形状、コンセン
トの位置、プロジェクタと装置の台の距離を考慮してください。



- ❖ レンズシフトの調整位置によっては、キーストン補正を行うとアスペクト比が変わる場合があります。

設置方法



❖ 表は参考データです。

レンズ情報

焦点距離(f) (mm)	18.07 ~ 22.59
F番号	2.0 ~ 2.32
ズーム倍率	1.25倍
ズーム及びフォーカス調整	手動
レンズシフト範囲	水平方向 左右 各10% 垂直方向 上下 各60%

投写距離

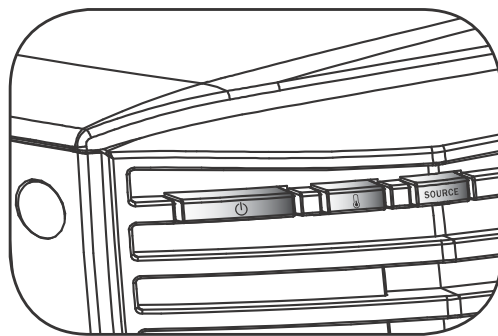


❖ 投写距離：
レンズ先端から
スクリーンまで。

画面サイズ (インチ)	投写距離 (mm)	
	最短	最長
40	1065	1335
50	1335	1680
60	1610	2020
70	1885	2365
80	2160	2705
90	2430	3045
100	2705	3390
120	3272	4092
150	4075	5100
180	4901	6137
200	5445	6810
250	6810	8520
300	8180	10230

コントロール パネルおよびリモコン

コントロール パネル



コントロール パネルのボタン

電源ボタン/
電源LED



24～25ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。

プロジェクタのステータスを表示します。

温度インジケータ LED



プロジェクタの温度ステータスを表示します。

ソース

[SOURCE] を押して入力信号を選択します。

リモコン

電池の取り付け

リモコンには単 3 電池 2 本が付属しています。

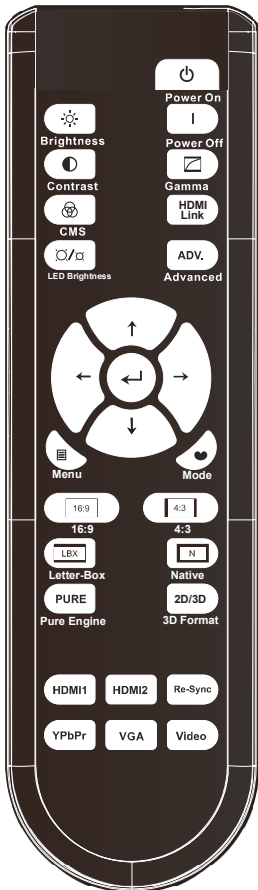
メーカーが推奨するものと同一または同等の電池と交換してください。

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに取り外す。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出る場合があります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

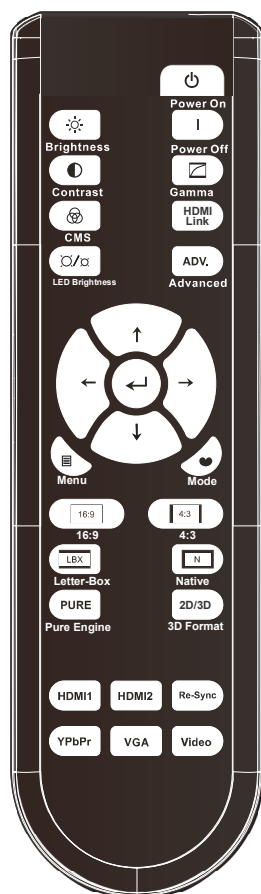
リモコン



リモコンのボタン

電源オン		プロジェクタの電源を入れます。
電源オフ		プロジェクタの電源を切ります。
ガンマ		ガンマカーブタイプを設定します。
HDMI Link	HDMI Link	HDMIリンク機能の有効と無効を切り替えます。
詳細設定	ADV.	「イメージ 詳細設定」メニューを表示または終了します。
4方向選択キー		方向選択キーを使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
モード		さまざまなアプリケーションの最適設定を行う場合、ディスプレイモードを選択してください。(36ページを参照してください)
4:3		4:3 (1440x1080) のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
Native		入力ソースは、拡大縮小せずに表示されます。
3D映像フォーマット	2D/3D	3Dコンテンツに一致する3Dモードを手動で選択します。
再同期	Re-Sync	プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。
ビデオソース	Video	[Video] を押してコンポジットビデオソースを選択します。
HDMI2ソース	HDMI2	[HDMI2] を押してHDMI 2コネクタからソースを選択します。
VGAソース	VGA	「VGA」を押してVGA-In/YPbPrコネクタからソースを選択します。
YPbPrソース	YPbPr	[YPbPr] を押してYPbPrコネクタからソースを選択します。

ユーザー管理



リモコンのボタン

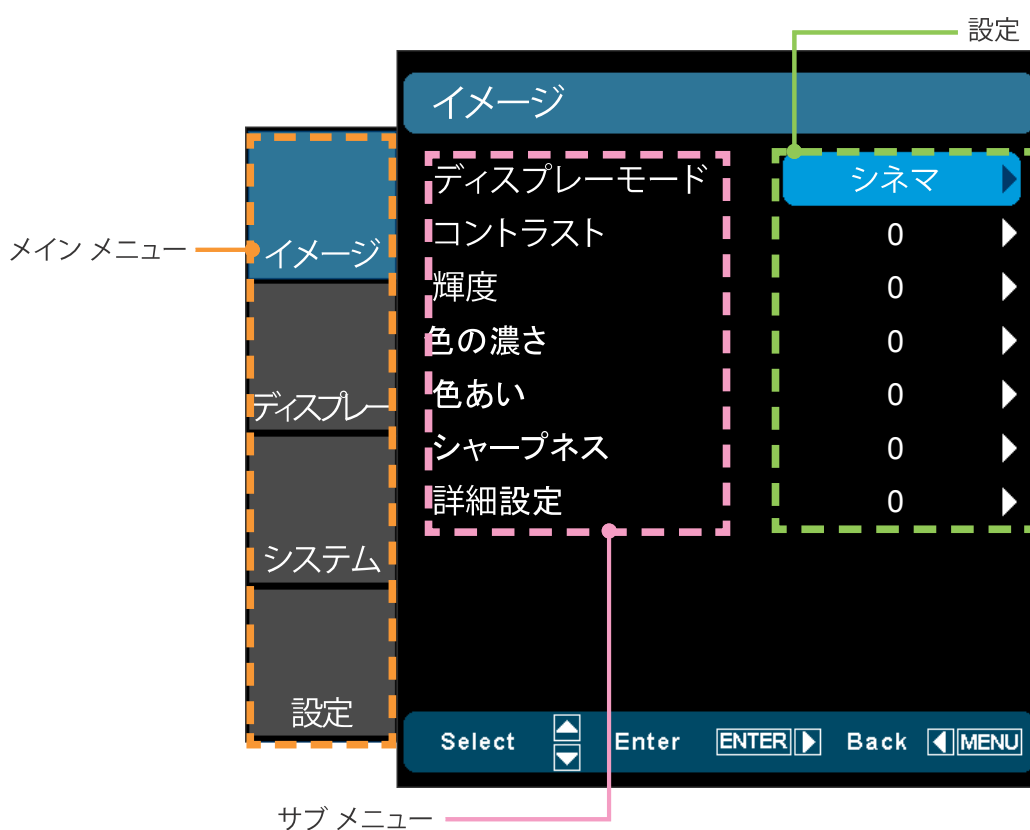
HDMI1	HDMI1	[HDMI1]を押してHDMI 1 コネクタからソースを選択します。
PureEngine	PURE	PureEngineは高度な画像処理技術を集めたもので、表示された画像の品質を向上します。
LBX	LBX	全画面幅でアナモルフィックに拡張されたムービーをレターボックス付きで表示します。イメージのアスペクト比が2.35:1以下の場合、元のイメージが一部失われます。
16:9	16:9	16:9 (1920x1080) のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
メニュー	≡	プロジェクタのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
入力する	↵	選択した項目を確定します。
LED動作輝度	☉/☉	画像の輝度を上げたり下げたりします。(38ページを参照してください)
CMS (色管理システム)	⊗	色(R/G/B/ C/M/Y)のいずれかを選択してそのX/Yオフセットと輝度を調整します。
コントラスト	●	映像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。
輝度	☉	画像の輝度を調整します。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニュー

本プロジェクタでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの [Menu] ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、▲▼キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▶または[Enter]キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ▲▼キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、▶または [Enter] キーを押して詳細設定を表示します。◀▶キーによって設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [Enter] または [Menu] ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [Menu] ボタンを押します。OSDメニューが終了し、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。



ユーザー管理

メニュー ツリー (階層)

メイン メニュー	サブ メニュー	設定
イメージ	ディスプレイモード	シネマ / フィルム / リファレンス / フォト / ブライト / 3D / ユーザー
	コントラスト	-50~50
	輝度	-50~50
	#1 色の濃さ	-50~50
	#1 色あい	-50~50
	シャープネス	0~15
	詳細設定	ノイズリダクション 0~10
		ガンマ フィルム / ビデオ / グラフィック / 標準
		PureEngine UltraDetail / PureColor / PureMotion / PureMotion Demo / 戻る
		LED動作輝度 消費電力 / DynamicBlack 1 / DynamicBlack 2 / DynamicBlack 3
		色設定 色温度 / 色域 / CMS / RGBゲイン/バイアス カラースペース / RGBチャンネル / 戻る
ディスプレイ		戻る
	アスペクト比	4:3 / 16:9 / LBX / Native / Auto235 / Auto235_字幕
	ズーム	0~10
	エッジマスク	0~5
	映像移動調整	映像水平位置 -100~100
		映像垂直位置 -100~100
	垂直キーストン	-30~30
	3D設定	3D映像フォーマット 自動 / Side By Side / Top and Bottom / Frame Sequential / 2D -> 3D
		3D -> 2D 3D / L / R
		2D -> 3D 低 / 中 / 高
		#2 3D同期反転 オフ / オン
システム		戻る
	メニュー位置	
	LED使用時間	
	設置モード	
	テストパターン	オフ / グリッド / 白
	背景色	青 / グレー / 黒
	リモコン受光設定	全部 / フロント / 上端
	12VトリガA	オフ / オン
	12VトリガB	オフ
		オン 4:3 / 16:9 / LBX / Native / 終了
		Auto 3D
		Auto 235
		終了
	アナモルフィック	なし / 固定 / 電動

ユーザー管理

メインメニュー	サブメニュー	設定
設定	言語	English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Português / Svenska / Nederlands / Norsk / Dansk / Polski / Suomi / Русский / ελληνικά / Magyar / Čeština / عربي / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / Türkçe / ไทย
	入力ソース	VGA / ビデオ / HDMI 2 / HDMI 1 / コンポーネント / 戻る
	HDMI Link設定	HDMI Link モニター連動 電源オン設定 電源オフ設定 戻る
	ソースロック	オフ / オン
	高地モード	オフ / オン
	信号表示	オフ / オン
	オートパワーオフ	0~180
	信号	周波数 位相 水平位置 垂直位置 自動 戻る ホワイトレベル ブラックレベル 彩度 色あい IRE 戻る
	リセット	現在 全部



- ❖ オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューは、選択した信号タイプによって変わります。
- ❖ (#1) [色の濃さ]と[色合い]は、入力ソースによってはサポートされません。
- ❖ (#2) [3D同期反転] は、3D が有効になっているときのみ使用できます。

イメージ



ディスプレイモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- ▶ シネマ: ホームシアター用のデフォルト設定。
- ▶ フィルム: ホームシアター用のもっともピュアな色設定。
- ▶ リファレンス: このモードは、映画監督が意図したように、画像をできるだけ再現して再生することを目的としています。色の濃さ、色温度、コントラスト、ガンマ設定はすべて標準のレベルに設定されます。
- ▶ フォト: 写真画像の表示用に最適化されています。
- ▶ ブライト: PC入力に対する最大輝度。
- ▶ 3D: 3D モードの設定を有効にするようにお勧めします。ユーザーが 3D で調節を行うと、新しい設定が保存され、次からはこの設定を利用できます。
- ▶ ユーザー: ユーザーの設定。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。

- ▶ ◀ を押すとコントラストが下がります。
- ▶ ▶ を押すとコントラストが上がります。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ▶ ◀ を押すと映像が暗くなります。
- ▶ ▶ を押すと映像が明るくなります。

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ▶ ◀ を押すと画像の彩度が低くなります。
- ▶ ▶ を押すと画像の彩度が高くなります。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ◀ を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶ ▶ を押すと画像の赤が強くなります。

シャープネス

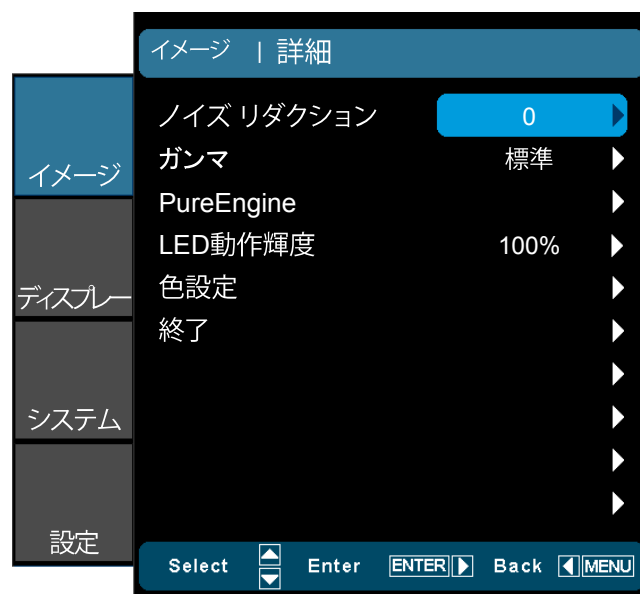
画像のシャープネスを調整します。

- ▶ ◀ を押すとシャープネスが下がります。
- ▶ ▶ を押すとシャープネスが上がります。



❖ [色の濃さ]と
[色あい]は入力
ソースによっては
サポートされません。

イメージ | 詳細設定



ノイズ リダクション

ノイズ リダクションでは、可視的なノイズインターレース信号の量が減少します。範囲は「0」から「10」の間です。(0: オフ)

ガンマ

これにより、ガンマのカーブタイプを設定できます。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- ▶ フィルム: ホームシアター用。
- ▶ ビデオ: ビデオまたは TV ソース用。
- ▶ 標準: 標準化された設定用。
- ▶ グラフィック: PC/フォトソース用。

PureEngine

PureEngineは高度な画像処理技術を集めたもので、表示された画像の品質を向上します。

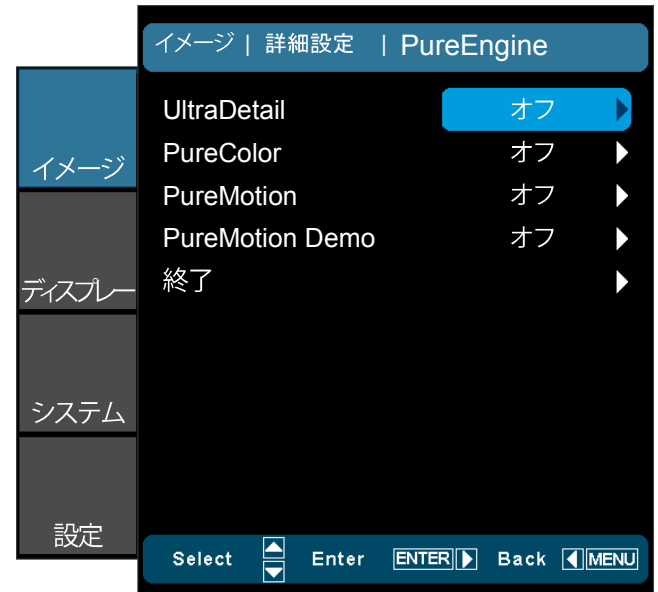
LED動作輝度

- ▶ 消費電力: LED輝度を手動で調整します(100%～50%)。
- ▶ DynamicBlack 1: LED輝度を100%～13%の間で自動的に調整します。
- ▶ DynamicBlack 2: LED輝度を100%～5%の間で自動的に調整します。
- ▶ DynamicBlack 3: LED輝度を100%～0%の間で自動的に調整します。

色設定

次のメニューで▶を押し、▲か▼を使ってアイテムを選びます。

イメージ | 詳細設定 | PureEngine



UltraDetail

UltraDetailはエッジ強調ツールで、投射された画像のエッジを強調し、それによって細部をよりくっきりと表示できるようになります。

PureColor

この調整可能なアイテムは新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して、映像の鮮明さを大幅に増しています。範囲は「0」から「5」の間です。

PureMotion

PureMotionは最新のアルゴリズムを使用して、画像の自然な動きを失わないようにしています。

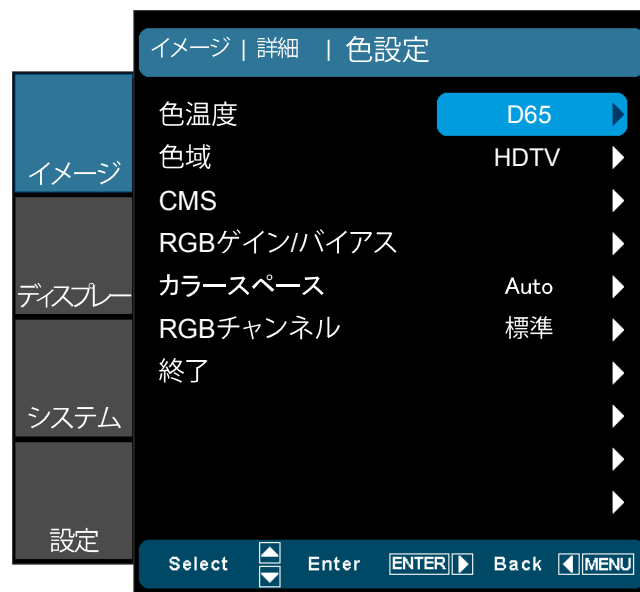
PureMotion Demo

この機能により、生の処理されていない画像とPureMotionで処理された画像の画質の違いを見ることができます。このモードを使用して、PureMotion設定に対して行った調整をチェックします。



- ❖ ゲーム再生の間、PureMotion機能を「オフ」にすると応答遅延を短縮できます。

イメージ | 詳細設定 | 色設定



色温度

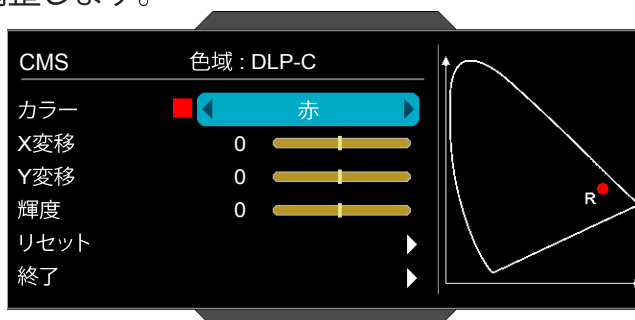
D50、D65、D75、D83、D93、Native から色温度を選択します。

色域

Native、DLP-C、HDTV、SMPTE-C、EBUから適切な色域を選択します。

CMS (CMS管理システム)

次のメニューで▶を押し、▲か▼を使ってアイテムを選びます。色(R/G/B/ C/M/Y)のいずれかを選択してそのX/Yオフセットと輝度を調整します。



- ▶ カラー: ◀ または ▶ を使って赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄、白から選択します。
- ▶ Xオフセット: ◀ または ▶ を使って、選択した色のXオフセット値を調整します。
- ▶ Yオフセット: ◀ または ▶ を使って、選択した色のYオフセット値を調整します。
- ▶ 輝度: ◀ または ▶ を使って、選択した色の輝度値を調整します。
- ▶ リセット: [はい] を選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。



RGBゲイン/バイアス

次のメニューで▶を押し、▲か▼を使ってアイテムを選びます。

- ▶ ◀ か ▶ を使って、輝度(ゲイン)とコントラスト(バイアス)について赤、緑、青を選びます。
- ▶ リセット: [はい] を選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。

カラースペース

自動、RGB(0-255)、RGB(16-235)、YUVから適切なカラー マトリックス タイプを選択します。

RGBチャンネル

◀ または ▶ を使って標準、赤、緑、青チャンネルから選択します。

ディスプレイ



- ❖ (#1) この機能は、アナモルフィックレンズが固定または電動または固定ではサポートされません。
- ❖ (#2) システム/アナモルフィックレンズが固定または電動であるときのみ、この機能がサポートされます。
Auto235機能が選択されているとき、ソースフォーマットが2.35:1であれば、12vトリガはアナモルフィックレンズに電力を送信します。このソースフォーマットが4:3または16:9のとき、電力は送信されません。

アスペクト比

ここで好みのアスペクト比を選択します。

- ▶ 4:3: このフォーマットは、4:3 入力用です。
- ▶ 16:9: ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- ▶ LBX: 16:9ではないレターボックスソースを投写する場合や、外部アナモルフィックレンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。
- ▶ Native (#1): このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- ▶ Auto235 (#2): 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。
- ▶ Auto235_字幕 (#2): 字幕に適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

HDMI	Auto235オフ			
	4:3	16:9	LBX	Native
2D/HQFS/2D -> 3D	✓	✓	✓	✓
Side By Side		✓		
Top and Bottom		✓	✓	
1080p24FP	✓	✓	✓	✓
720pFP	✓	✓	✓	

HDMI	Auto235オン				
	4:3	16:9	LBX	Auto235	Auto235_字幕
2D/HQFS/2D -> 3D	✓	✓	✓	✓	✓
Side By Side		✓			
Top and Bottom		✓	✓	✓	✓
1080p24FP	✓	✓	✓	✓	✓
720pFP	✓	✓	✓	✓	✓

コンポーネント	Auto235オフ			
	4:3	16:9	LBX	Native
2D/HQFS/2D -> 3D	✓	✓	✓	✓
Side By Side		✓		
Top and Bottom		✓		

コンポーネント	Auto235オン				
	4:3	16:9	LBX	Auto235	Auto235_字幕
2D/HQFS/2D -> 3D	✓	✓	✓	✓	✓
Side By Side		✓			
Top and Bottom		✓			



- ❖ アナモルフィックレンズが固定または電動であるとき、リモコンで「Native」ボタンを押すと、「Auto235」になります。

LBX モードに関する詳細情報:

- 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16:9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。
- 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16:9 ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。LED 電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。

ユーザー管理



- ❖ (#1) この機能は、SBSモードではサポートされません。
- ❖ アナモルフィックレンズが固定または電動であるとき、リモコンで「Native」ボタンを押すと、「Auto235」になります。

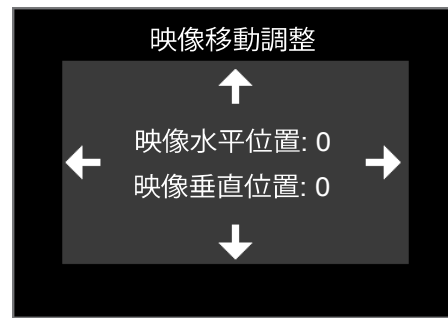
アナモルフィックレンズが取り付けられていない 1080pスケーリングテーブル					
16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1440 x 1080 中央				
16:9	1920 x 1080 中央				
LBX (#1)	1920 x 1440 中央、それから表示する1920 x 1080イメージにします				
Native	画像のサイズ変更、1:1マッピング、中央揃えはされません。このフォーマットは元の画像を拡大縮小なしで表示します。				
Auto235	このフォーマットを選択すると、画面タイプは16:9 (1920x1080)になります ソースが4:3の場合、1440 x 1080に自動的にサイズ変更されます ソースが16:9の場合、1920x1080に自動的にサイズ変更されます				

アナモルフィックレンズが電動のとき					
16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1440 x 1080 中央				
16:9	1920 x 1080 中央				
LBX (#1)	720x363 をキャ ッチ (中央)	720x436 をキャ ッチ (中央)	1920x817をキ ャッチ (中央)	1920x545をキ ャッチ (中央)	高さの 75.65%をキ ャッチ (中央)
	1920x1440に上げてから、中央1920x1080画像を表示する				
Auto235 (#1) (Nativeの リモコンと 同じボタン)	ソースが2.35:1のとき(最上部/底部に黒いバーが表示)、LBXフォーマットを実行します。 ソースが2.35:1でない場合、つまりフル4:3または16:9の場合(最上部/底部に黒いバーがない)、16:9フォーマットを行います				
Auto235_字幕	720x422 をキャ ッチ (底部)	720x506 をキャ ッチ (底部)	1920x948をキ ャッチ (底部)	1920x632をキ ャッチ (底部)	高さの87.8% をキャッチ (底部)
	ソースが2.35:1(最上部/底部に黒いバーが表示)の場合、上記のキャッチング規則を実行して1920x1440に上げ、次に中央1920x1080画像を表示します。 ソースが2.35:1でない場合、つまりフルサイズ4:3または16:9の場合(最上部/底部に黒いバーがない)、16:9フォーマットを行います				

ユーザー管理

アナモルフィックレンズが固定のとき					
16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1080 x 1080 中央				
16:9	1440 x 1080 中央				
LBX (#1)	720x363 をキャ ッチ (中央)	720x436 をキャ ッチ (中央)	1920x817をキ ャッチ (中央)	1920x545をキ ャッチ (中央)	高さの 75.65%をキ ャッチ (中央)
	1920x1440に上げてから、中央1920x1080画像を表示する				
Auto235 (#1) (Nativeの リモコンと 同じボタン)	ソースが2.35:1のとき(最上部/底部に黒いバーが表示)、LBXフ ォーマットを実行します。 ソースが2.35:1でない場合、つまりフル4:3または16:9の場 合(最上部/底部に黒いバーがない)、16:9フォーマットを行 います				
Auto235_字幕	720x422 をキャ ッチ (底部)	720x506 をキャ ッチ (底部)	1920x948をキ ャッチ (底部)	1920x632をキ ャッチ (底部)	高さの87.8% をキャッチ (底部)
	ソースが2.35:1(最上部/底部に黒いバーが表示)の場合、上記 のキャッチング規則を実行して1920x1440に上げ、次に中央 1920x1080画像を表示します。 ソースが2.35:1でない場合、つまりフルサイズ4:3または16:9 の場合(最上部/底部に黒いバーがない)、16:9フォーマットを 行います				

ユーザー管理



- ❖ 各 I/O には別々の [エッジマスク] の設定があります。

ズーム

- ▶ ◀ を押すとイメージのサイズが小さくなります。
- ▶ ▶ を押すとイメージのサイズが大きくなります。

エッジマスク

イメージをエッジマスクしてビデオ ソース映像のエッジ部分のノイズを削除します。

映像移動調整

以下のように次のメニューで ▶ を押し、▲ か ▼ または ◀ か ▶ を使ってアイテムを選びます。

- ▶ 映像水平位置: ◀ ▶ を押して、投射された画像位置を水平にシフトします。
- ▶ 映像垂直位置: ▲ ▼ を押して、投射された画像位置を垂直にシフトします。

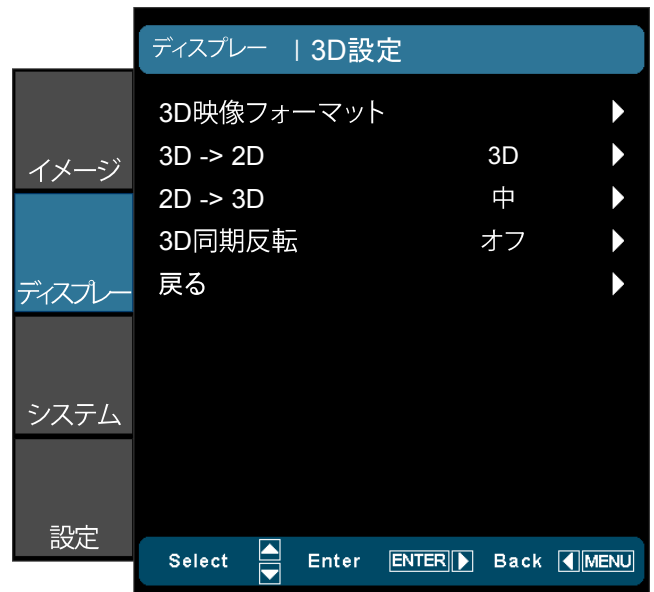
垂直キーストン

◀ または ▶ を押すと、画像の垂直の歪みが調整されます。



- ❖ レンズシフトの調整位置によっては、キーストン補正を行うとアスペクト比が変わる場合があります。

ディスプレイ | 3D設定



- ❖ [3D同期反転] 機能は設定を保存しません。電源がオンでソースを変更するとき、[オフ]に設定します。
- ❖ 3D映像フォーマットは、63ページの3Dタイミングでのみサポートされます。
- ❖ [3D映像フォーマット] は非HDMI 1.4a 3D タイミングでのみサポートされます。

3D映像フォーマット

- ▶ 自動: ネーティブフォーマットを表示します。
- ▶ Side By Side: [サイドバイサイド] フォーマットで3D信号を表示します。
- ▶ Top and Bottom: 3D 信号を [Top and Bottom] フォーマットで表示します。
- ▶ Frame Sequential: 3D 信号を [Frame Sequential] フォーマットで表示します。
- ▶ 2D -> 3D: 2D信号を3D信号に変換します

3D -> 2D

- ▶ 3D: 3D 信号を表示します。
- ▶ L (左): 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- ▶ R (右): 3D コンテンツの右フレームを表示します。

2D -> 3D

低、中、高から3D被写界深度(強度)を選択します。

3D同期反転

- ▶ 左右のフレームコンテンツを反転するには、[オン] を押します。
- ▶ 反転無し(デフォルト)の場合、[オフ] を押します。

システム



メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

LED使用時間

LED時間を表示します。

設置モード



❖ リアおよび
リア-天吊りは、
透明なスクリーン
を使用する際に
使用できます。

- ▶  フロント

これは、デフォルト設定です。画像がスクリーン上にまっすぐに投射されます。

- ▶  リア

選択されると、画像を左右逆向きに表示します。

- ▶  フロント-天吊り

選択されると、画像を上下逆向きに表示します。

- ▶  リア-天吊り

選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。

テストパターン

テストパターンを表示します。グリッド、白、オフがあります。

背景色

信号が使用できないときの背景色を[黒]、[青]、[グレー]から選択します。

リモコン受光設定

- ▶ 全部: [全部] を選択すると、前方または上部IR レシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できます。
- ▶ フロント: [フロント] を選択すると、フロントIR レシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できます。

ユーザー管理

- ▶ 上端 : [上端] を選択すると、上部 IR レシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できます。

12VトリガA

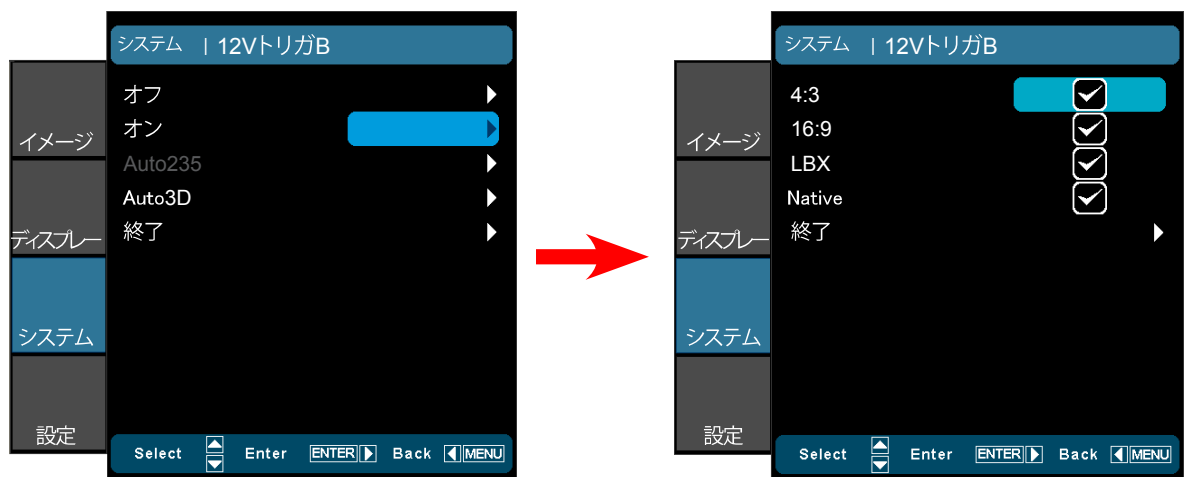
12VトリガAは、電動スクリーンに標準トリガを提供します。

12VトリガB (#1)

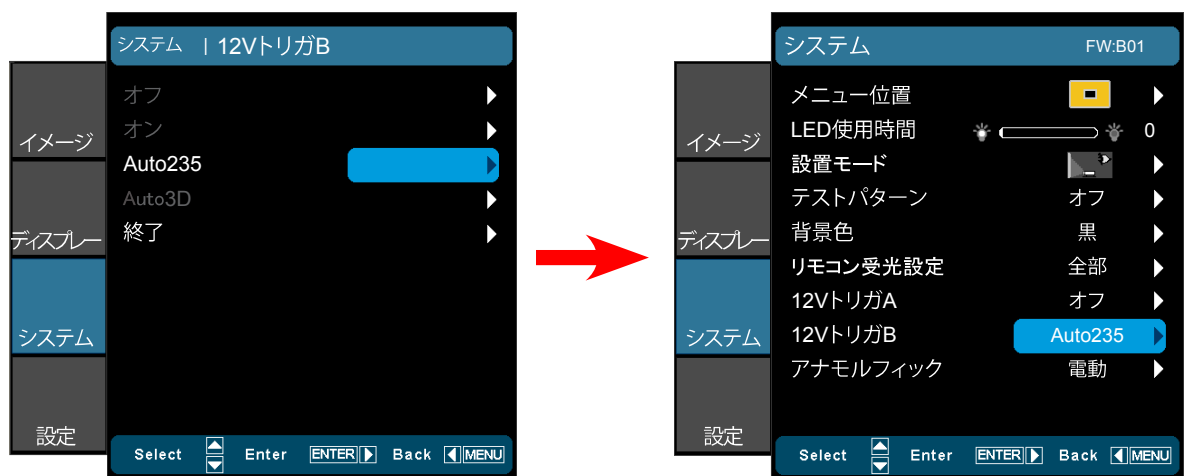
- ▶ 「オフ」でトリガが無効になります。
- ▶ 「オン」で、トリガとプログラム可能サブメニューが有効になります。サブメニューには「オン」オプションを選択し、リモコンの「Enter」ボタンを押すことでアクセスできます。サブメニューでオプションにチェックを入れると、対応するディスプレイモードが選択されるときにトリガが起動します。例では、4:3が選択されています。これは、プロジェクタのディスプレイモードが4:3に設定されているとき、トリガBがアクティブになることを意味します。トリガは、他のディスプレイモードオプションではアクティブになりません。



- ❖ (#1) 電動レンズが選択されているとき、このアイテムはグレー表示され「Auto235」になります。



▶ Auto235:



- ▶ Auto3D : 「自動3Dフォーマット」が有効になっているとき、プロジェクタは3D画像が表示される時間を自動的に検出し、このポートでトリガを有効にします。

ユーザー管理

アナモルフィック

「なし」、「固定」、「電動」からアナモルフィックレンズを選択します。

	(12VトリガB)			
(アナモルフィックレンズ)	オフ	オン	Auto235	Auto3D
なし	✓	✓		✓
固定			✓	
電動			✓	

設定



言語

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの ▶ を押し、▲ か ▼ または ◀ か ▶ キーを使って好みの言語を選択します。[Enter] を押すと選択が確定されます。



入力ソース

入力ソースを有効/無効にする際に使用します。▶ を押して、サブメニューに入り、必要なソースを選択します。[Enter] を押すと選択が確定されます。プロジェクトは、有効になっている入力のみを検索します。



HDMI Link設定

詳細は、53-54 ページを参照してください。

ソースロック

- ▶ オン: プロジェクタは、選択した入力接続のみを検索します。
- ▶ オフ: 現在の入力シグナルがない場合、プロジェクタは他のシグナルを検索します。

高地モード

[オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

信号表示

- ▶ オン: [オン]を選択すると、[検出中] が非表示になります。
- ▶ オフ: [オフ]を選択すると、[検出中]が表示されます。

オートパワーオフ

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクタへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます(単位は分です)。

リセット

- ▶ 現在: 「はい」を選択するとこのメニューのディスプレイパラメータが工場出荷時設定に戻ります。
- ▶ 全部: 「はい」を選択するとすべてのメニューのディスプレイパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

設定 | HDMI Link 設定

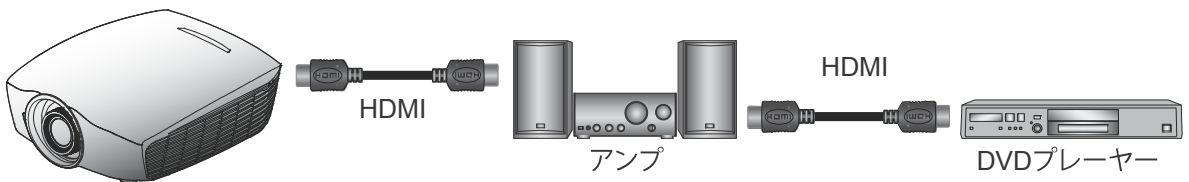


HDMI Linkを使用する



- ❖ HDMI Linkがオフに設定されているとき、スタンバイモードは<0.5Wになります。

- HDMIケーブルでHDMI CEC互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクタのOSDでHDMI Link機能を使い電源オンまたは電源オフ状態をコントロールできます。
- これにより、1台のデバイスまたはグループの複数のデバイスがHDMI Link機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。
- 一般設定の場合、DVDプレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクタに接続されます。



- ❖ 接続された製品の設計およびHDMI CEC規格への遵守によっては、HDMI Link機能が作動しない場合があります。

HDMI Link

HDMI Link機能の有効と無効を切り替えます。モニター連動、電源オン設定、電源オフ設定はHDMI Link設定がオンに設定されている場合のみ使用できます。

モニター連動

設定が「はい」に設定されている場合、モニターとプロジェクタは同時に自動的にオフになります。両方のデバイスが同時にオフにならないようにするには、設定を「いいえ」に設定します。

電源オン設定

CEC電源オンコマンド

- ▶ 双方向設定: プロジェクタとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- ▶ プロジェクタ->機器: プロジェクタがオンになった後でのみ、CECデバイスのスイッチがオンになります。
- ▶ 機器->プロジェクタ: CECデバイスがオンになった後でのみ、プロジェクタのスイッチがオンになります。

電源オフ設定

設定が「オン」に設定されている場合、HDMI Linkとプロジェクタは同時に自動的にオフになります。「オフ」に設定されている場合、HDMI Linkとプロジェクタは同時に自動的にオフになりません。

設定 | 信号 (VGA)



❖ [信号] は、アナログ VGA (RGB) 信号でのみサポートされます。

設定 信号	
イメージ	周波数 50 ▶
	位相 0 ▶
	水平位置 0 ▶
ディスプレイ	垂直位置 0 ▶
	自動 無効 ▶
	終了 ▶
システム	▶
	▶
	▶
設定	▶

Select Enter ENTER▶ Back ◀MENU

周波数

お使いのコンピュータのグラフィックカードの周波数と一致するよう、表示データ周波数を変えてください。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。

位相

ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

水平位置

- ▶ ◀ を押すとイメージが左に移動します。
- ▶ ▶ を押すとイメージが右に移動します。

垂直位置

- ▶ ◀ を押すとイメージが下に移動します。
- ▶ ▶ を押すとイメージが上に移動します。

自動

信号を自動的に設定します (周波数と位相アイテムはグレー表示になります)。自動が無効になっている場合、ユーザーが設定を手動で調整し保存できるように周波数と位相アイテムが表示されます。

設定 | 信号 (ビデオ)



- ❖ ソースがHDMIの場合、[信号]はサポートされません。
- ❖ 「IRE」はNTSC信号でのみサポートされます。



ホワイトレベル

ビデオ信号を入力しているとき、ホワイトレベルを調整できます。

ブラックレベル

ビデオ信号を入力しているとき、ブラックレベルを調整できます。

彩度

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ▶ ◀ を押すと画像の色の量が減少します。
- ▶ ▶ を押すと画像の色の量が増加します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ◀ を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶ ▶ を押すと画像の赤が強くなります。

IRE

コンポジット ビデオ シグナルの尺度を調整します。

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。
それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

スクリーンに画像が写らない

- ▶ すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認し、再起動してください。
- ▶ 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうかご確認ください。
- ▶ レンズキャップを取り外し、プロジェクタのスイッチがオンになっていることを確認します。

画像のピントが合っていない

- ▶ レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- ▶ プロジェクタレンズのフォーカスリングで調整してください。
- ▶ 投射画面がプロジェクタから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(28～29ページを参照してください)

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- ▶ アナモルフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクタは16:9のアスペクト比で最適な画像を表示します。
- ▶ LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDでアスペクト比をLBXへ変更してください。
- ▶ 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタOSDで4:3へアスペクト比を変更してください。
- ▶ それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります:
- ▶ お使いのDVDプレーヤーで、16:9のアスペクト比タイプとして表示フォーマットを設定してください。

❓ 画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- ▶ プロジェクタのズームダイヤルを調整します。
- ▶ プロジェクタを画面に近づけたり、遠ざけたりします。
- ▶ プロジェクタの [メニュー] で、[ディスプレイ-->アスペクト比] に進みます。別の設定を試してみます。

❓ 画像の両側が斜めになる:

- ▶ 可能であれば、プロジェクタがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- ▶ 調整を行うには、OSDから [ディスプレイ-->垂直キーストン] を使用します。

❓ 画像が反転する

- ▶ OSDから [システム-->設置モード] を選択し、投射方向を調整します。

❓ ぼやけた二重画像

- ▶ [3D映像フォーマット] ボタンを押して [自動] に切り替えてください。

❓ Side By Sideフォーマットの3D映像の場合

- ▶ 入力信号がHDMI 1.3 2D 1080i Side By Sideとなるように、[3D映像フォーマット] ボタンを押して [Side By Side] に切り替えてください。

❓ 3Dで画像が表示されません

- ▶ 3D眼鏡のバッテリーが十分かどうか、ご確認ください。
- ▶ 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- ▶ 入力信号がHDMI 1.3 2D (1080i Side By Side) になっているとき、[3D映像フォーマット] ボタンを押して [Side By Side] に切り替えてください。

その他の問題

- ❓ プロジェクタがすべてのコントロールへの反応を停止します
- ▶ 可能であれば、プロジェクタの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

- ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください
- ▶ リモコンの操作角度が、プロジェクタのIRレシーバーから水平および垂直方向に±25°以上ずれていないことを確認します。
 - ▶ リモコンとプロジェクタとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクタから6 m以内に移動する。
 - ▶ 電池が正しくセットされていることを確認する。
 - ▶ 古くなった電池は、新しいものと交換する。

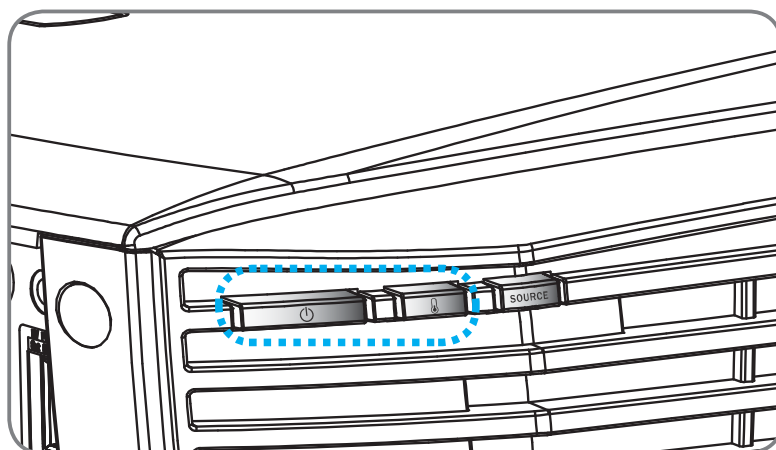
LED 点灯メッセージ



- ❖ 電源LEDオン: 信号なし、OSDメニューが表示され信号は検出済みです。
- ❖ 電源LEDオフ: 信号は検出されていますが、OSDメニューは非表示になります。

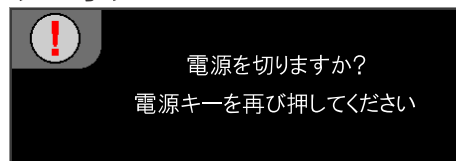
メッセージ	電源 LED (赤)	電源 LED (青)	温度インジケータ LED (赤)
スタンバイ状態 (入力コード)	点灯	オフ	オフ
電源オン(ウォーミング)	オフ	点滅	オフ
LEDのライトをオンにします	オフ	オフ	オフ
電源オフ(冷却)	オフ	点滅	オフ
エラー (LEDトラブル)	点滅	オフ	オフ
エラー (ファントラブル)	点滅	オフ	点滅
エラー (過熱)	点滅	オフ	点灯

* オン/スタンバイLEDはOSDが表示されるとオンになり、OSDが消えるとオフになります。



オンスクリーン メッセージ

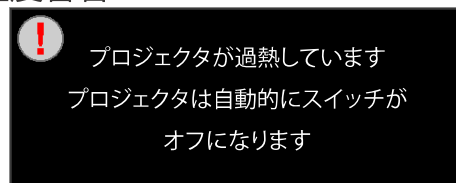
❖ パワーオフ:



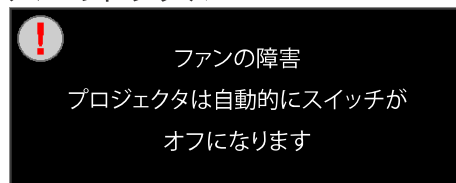
❖ LED警告:



❖ 温度警告:



❖ ファンのトラブル:



❖ 表示範囲外:



互換モード

❖ コンピュータ/ビデオ/HDMI/Mac 互換

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	ビデオ	アナログ	HDMI	Mac
NTSC	720 x 480	60	O	-	-	-
PAL/SECAM	720 x 576	50	O	-	-	-
VGA	640 x 480	60	-	O	O	O
	640 x 480	67	-	O	-	-
	640 x 480	72.8	-	O	-	O
	640 x 480	85	-	O	-	O
SVGA	800 x 600	56.3	-	O	-	-
	800 x 600	60.3	-	O	O	O
	800 x 600	72.2	-	O	O	O
	800 x 600	85.1	-	O	O	O
	800 x 600	120 ^(*)	-	O	O	-
XGA	1024 x 768	60	-	O	O	O
	1024 x 768	70.1	-	O	O	O
	1024 x 768	75	-	O	O	O
	1024 x 768	85	-	O	O	O
	1024 x 768	120 ^(*)	-	O	O	-
HDTV (720p)	1280 x 720	50	O	O	O	-
	1280 x 720	60	O	O	O	O
	1280 x 720	120 ^(*)	-	O	O	-
WXGA	1280 x 768	60	-	O	O	O ^(*)
	1280 x 768	75	-	O	O	O
	1280 x 768	85	-	O	O	O ^(*)
	1280 x 800	60	-	O	O	O
SXGA	1280 x 1024	60	-	O	O	O
	1280 x 1024	75	-	O	O	O
	1280 x 1024	85	-	O	O	-
SXGA+	1400 x 1050	60	-	O	O	-
UXGA	1600 x 1200	60	-	O	O	-
HDTV (1080p)	1920 x 1080	24	O	O	O	-
	1920 x 1080	30	-	-	O	-
	1920 x 1080	50	O	O	O	-
	1920 x 1080	60	O	O	O	O
HDTV (1080i)	1920 x 1080	50	O	-	O	-
	1920 x 1080	60	O	-	O	-



- ❖ (*1) True 3Dプロジェクタ用の3Dタイミング。
- ❖ (*2)は、Mac用のHDMI入力信号をサポートしていません。
- ❖ 120Hz入力信号は、サポートされるグラフィックスカードに依存します。

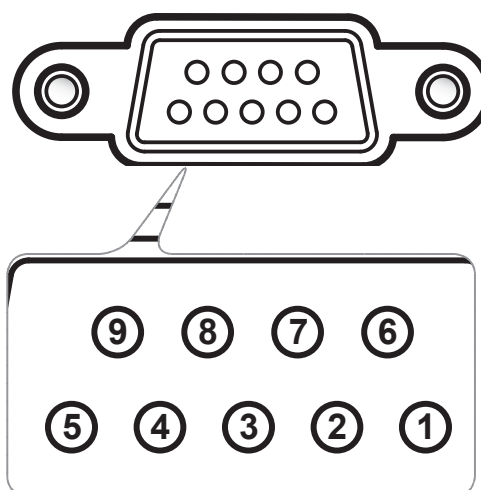
信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	ビデオ	アナログ	HDMI	Mac
SDTV (576i)	720 x 576	50	O	-	O	-
SDTV (576p)	720 x 576	50	O	-	O	-
SDTV (480i)	720 x 480	60	O	-	O	-
SDTV (480p)	720 x 480	60	O	-	O	-

❖ 3D 入力ビデオ互換

入力解像度	HDMI 1.4a 3D 入力	入力タイミング		
		1280 x 720p @ 50Hz	Top and Bottom	
入力解像度	HDMI 1.4a 3D 入力	1280 x 720p @ 60Hz	Top and Bottom	
		1280 x 720p @ 50Hz	フレームパッキング	
		1280 x 720p @ 60Hz	フレームパッキング	
		1920 x 1080i @ 50 Hz	Side By Side(ハーフ)	
		1920 x 1080i @ 60 Hz	Side By Side(ハーフ)	
		1920 x 1080p @ 24 Hz	Top and Bottom	
		1920 x 1080p @ 24 Hz	フレームパッキング	
	HDMI 1.3 3D コンテンツ	1920 x 1080p @ 60Hz	Side By Side (ハーフ)	3D映像フォーマットが [Side By Side] の間
		1920 x 1080i @ 50Hz		
		1920 x 1080i @ 60Hz		
		1280 x 720p @ 50Hz		
		1280 x 720p @ 60Hz	Top and Bottom	3D映像フォーマットが [Top and Bottom] の間
		1920 x 1080p @ 60Hz		
		1920 x 1080i @ 50Hz		
		1920 x 1080i @ 60Hz		
		1280 x 720p @ 50Hz		
		1280 x 720p @ 60Hz		
		480i	HQFS	3D映像フォーマットが [Frame Sequential] の間

RS232 コマンドとプロトコル機能リスト

RS232ピン割り当て



Pin 番号	仕様 (プロジェクタ側から)
1	該等なし
2	RXD
3	TXD
4	該等なし
5	GND
6	該等なし
7	該等なし
8	該等なし
9	該等なし

RS232プロトコル機能リスト

通信速度: 9600
 データビット: 8
 パリティ: なし
 停止ビット: 1
 フロー制御: なし
 UART16550 FIFO: 機能を取り消し

プロジェクト復帰(成功): P
 プロジェクト復帰(失敗): F
 XX=00-99、プロジェクトの ID、
 XX=00はすべてのプロジェクト用です
 すべてのASCIIコマンドの後には<CR>が付きます。
 0Dは、ASCIIコードでの<CR>に対するHEXコード
 です。

~	X	X	X	X	X	space	n	CR		
	Projector ID		Command ID				variable	carriage return		
IMAGE	Function		On/Off				ASCII	Pass	Fail	
	Power					n=1/n=0 & 2	~XX00 n	P	F	
	Re-sync						~XX01 n	P	F	
	Direct Source Commands	HDMI 1				n=1	~XX12 n	P		
		VGA				n=5				
		VGA Component				n=8				
		Video				n=10				
		Component RCA				n=14				
	Display Mode	HDMI 2				n=15				
		Cinema				n=1	~XX20 n	P	F	
		Film				n=11				
		Bright				n=2				
		Photo				n=3				
		Reference				n=4				
		User				n=5				
		ISF Day				n=7				
		ISF Night				n=8				
		3D				n=9				
	Brightness					n= -50 ~ +50	~XX21 n	P	F	
	Contrast					n= -50 ~ +50	~XX22 n	P	F	
	Sharpness					n= 0 ~ +15	~XX23 n	P	F	
	Tint					n= -50 ~ +50	~XX44 n	P	F	
	Color					n= -50 ~ +50	~XX45 n	P	F	
	Advanced	Color Settings	RGB Gain/Bias	Red Gain			n= -50 ~ +50	~XX24 n		
				Green Gain			n= -50 ~ +50	~XX25 n		
				Blue Gain			n= -50 ~ +50	~XX26 n		
				Red Bias			n= -50 ~ +50	~XX27 n		
				Green Bias			n= -50 ~ +50	~XX28 n		
				Blue Bias			n= -50 ~ +50	~XX29 n		
				Reset			n=1	~XX33 n		
			Color Temperature		D50		n=1	~XX210 n		
					D65		n=2	~XX210 n		
					D75		n=4	~XX210 n		
					D83		n=5	~XX210 n		
					D93		n=6	~XX210 n		
				Native		n=7	~XX210 n			
				Native		n=1	~XX211 n			
		Color Gamut		Adobe		n=6	~XX211 n			
				DLP Cinema		n=2	~XX211 n			
				HDTV		n=3	~XX211 n			
				SMPT-C		n=5	~XX211 n			
		CMS	Red			n=1	~XX212 n			
			Green			n=2	~XX212 n			
			Blue			n=3	~XX212 n			
			Cyan			n=4	~XX212 n			
			Yellow			n=5	~XX212 n			
			Magenta			n=6	~XX212 n			
			x offset	-50 ~ 50		n= -50 ~ +50	~XX213 n			
			y offset	-50 ~ 50		n= -50 ~ +50	~XX214 n			
			Brightness	-50 ~ 50		n= -50 ~ +50	~XX217 n			
			Reset			n=1	~XX215 n			
		Gamma	Film		Film/Video/Graphics/1.8	n=1	~XX35 n	P	F	
			Curve Type		/1.9/2.0/2.1/2.2/3/2.4/2.5/2.6	n=5 ~ +6	~XX182 n			
			Offset			n=5 ~ +5	~XX183 n			
			Reset			n=1	~XX208 n			
			Video		Film/Video/Graphics/1.8	n=2	~XX35 n			
			Curve Type		/1.9/2.0/2.1/2.2/3/2.4/2.5/2.6	n=5 ~ +6	~XX184 n			
			Offset			n=5 ~ +5	~XX185 n			
			Reset			n=1	~XX207 n			
			Graphics		Film/Video/Graphics/1.8	n=3	~XX35 n			
			Curve Type		/1.9/2.0/2.1/2.2/3/2.4/2.5/2.6	n=5 ~ +6	~XX186 n			
			Offset			n=5 ~ +5	~XX187 n			
			Reset			n=1	~XX208 n			
			Standard		Film/Video/Graphics/1.8	n=4	~XX35 n			
			Curve Type		/1.9/2.0/2.1/2.2/3/2.4/2.5/2.6	n=5 ~ +6	~XX188 n			
			Offset			n=5 ~ +5	~XX189 n			
			Reset			n=1	~XX209 n			
			Color Space	Auto			n=1	~XX37 n	P	F
				RGB (0-255)*	* RGB (0-255) supports when HDMI is detected		n=2			
		RGB(16 ~ 235)*		*RGB(16 ~ 235)supports when HDMI is detected		n=4				
		YUV					n=3			
	Noise Reduction				n= 0 ~ 10	~XX196 n	P	F		
	PureEngine	PureMotion	OFF			n=0	~XX190 n			
			LOW			n=1	~XX190 n			
			MED			n=2	~XX190 n			
			HIGH			n=3	~XX190 n			
			UltraDetail			n=0	~XX41 n			
		PureColor	ON			n=1	~XX41 n			
			HD+			n=2	~XX41 n			
			OFF			n=0	~XX42 n			
			1			n=1	~XX42 n			
			2			n=2	~XX42 n			
		PureEngine Demo	3			n=3	~XX42 n			
			4			n=4	~XX42 n			
			5			n=5	~XX42 n			
			OFF			n=0	~XX197 n			
			H Split			n=1		P	F	
			V Split			n=2		P	F	
	LED Brightness	Power	100%/95%/90%/85%/80%/75%/70%/65%/60%/50%			n=0/n=1/n=2/n=3/n=4/n=5/n=6/n=7/n=8/n=9	~XX326 n	P	F	
		DynamicBlack 1				n=1		P	F	
		DynamicBlack 2				n=2	~XX191 n	P	F	
		DynamicBlack 3				n=3		P	F	
	Format	4:3				n=1	~XX60 n	P	F	
16:9					n=2					
LBX		Don't support when Anamorphic lens is fixed			n=5					
Native		Don't support when Anamorphic lens is motored or fixed			n=6					
Auto235					n=8					
Auto235 Subtitle		Supportingit When Anamorphic lens is fixed or motor			n=11					
SuperWide		Don't support when Anamorphic lens is motored or fixed			n=9					
Edge masking					n=0-5	~XX61 n	P	F		

付録

n	X	X	X	X	space	n	CR		
	Projector ID		Command ID			variable	carriage return		
DISPLAY		Zoom			n=0-10	P	F		
		H Image Shift			n= -100 - +100	P	F		
		V Image Shift			n= -100 - +100	P	F		
		V Keystone			n= -30 - +30	P	F		
		3D	3D->2D	3D / L / R	2D->2D; 3D->3D / 3D->L / 3D->R	n=1/n=2/n=3	~XX400 n	P	F
			3D Format	Auto	Decoding HDMI1.3 3D timing	n=0	~XX405 n	P	F
				SBS		n=1	P	F	
				Top and Bottom		n=2	P	F	
				Frame Sequential		n=3	P	F	
			2D->3D	Low	n=4	P	F		
				Mid	n=5	P	F		
				High	n=6	P	F		
			3D Sync. Invert	On/Off	n=0/n=1	~XX231 n			
					n=1	~XX72 n	P	F	
			n=2						
			n=3						
			n=4						
SYSTEM	Menu Location	Top Left			n=1				
		Top Right			n=2				
		Centre			n=3				
		Bottom Left			n=4				
		Bottom Right			n=5				
	LED Hours				n=1	~XX108 n	Oknnnnn	return LED hour	
	Projection	Front-Desktop			n=1	~XX71 n	P	F	
		Rear-Desktop			n=2				
		Front-Ceiling			n=3				
		Rear-Ceiling			n=4				
	Test Pattern	None / Grid / White Pattern			n=0/n=1/n=2	~XX195 n			
	Background Color	Blue			n=1	~XX104 n	P	F	
		Black			n=2				
		Gray			n=6				
	IR Function	All/Front/Top			n=0 / n=1 / n=2	~XX11 n	P	F	
	12V Trigger A	Off/On			n=0/n=1	~XX192 n			
	12V Trigger B	Off/On/Auto235/Auto 3D			n=0/n=1/n=2/n=3	~XX193 n			
		4:3	4:3 check	When Movable lens is selected, 12V Trigger B won't accept any commands)		~XX205 0			
		16:9	16:9 check			~XX205 1			
			16:9 unchecked			~XX205 2			
		Letter Box	letter box check			~XX205 3			
			letter box unchecked			~XX205 4			
		Native	native check			~XX205 5			
			native unchecked			~XX205 6			
		Exit				~XX205 7			
SETUP	Language	English			n=1	~XX70 n	P	F	
		German			n=2				
		French			n=3				
		Italian			n=4				
		Spanish			n=5				
		Portuguese			n=6				
		Polish			n=7				
		Dutch			n=8				
		Swedish			n=9				
		Norwegian/Danish			n=10				
		Finnish			n=11				
		Greek			n=12				
		Traditional Chinese			n=13				
		Simplified Chinese			n=14				
		Japanese			n=15				
		Korean			n=16				
		Russian			n=17				
		Hungarian			n=18				
		Czech			n=19				
		Arabic			n=20				
	Input Source Filters	Thai			n=21				
		Turkish			n=22				
		HDMI 1			n=1	~XX39 n	P	F	
		HDMI 2			n=7				
		VGA			n=5				
	Source Lock	3 x RCA Component			n=8				
		Video			n=10				
		On/Off			n=1/n=0 & 2	~XX100 n	P	F	
		On/Off			n=1/n=0 & 2	~XX101 n	P	F	
		On/Off			n=1/n=0 & 2	~XX102 n	P	F	
	Signal	Automatic	Enable/Disable		n=0-180	~XX106 n	P	F	
		Frequency/Tracking			n=1/n=0	~XX91 n			
		Phase			n=0- 100	~XX73 n	P	F	
		H. Position			n= -50 - +50	~XX74 n	P	F	
		V. Position			n= -50 - +50	~XX75 n	P	F	
		White level			n= -50 - +50	~XX76 n	P	F	
		Black level			n= -50 +50	~XX200 n			
		Saturation			n= -50 +50	~XX201 n			
		Hue			n= -50 +50	~XX202 n			
		IRE	0 IRE / 7.5 IRE		n=1/n=0	~XX203 n			
	Reset	Yes			n=1	~XX112 n	P	F	
		No			n=2				
Information from Projector Automatically when:	Standby Mode				a=0		INFOa		
	Warming up				a=1		INFOa		
	Cooling Down				a=2		INFOa		
	Out of Range				a=3		INFOa		
	LED Fail				a=4				
	Thermal Switch Error				a=5				
	Fan Lock				a=6				
	Over Temperature				a=7				
	Lamp Hours Running Out				a=8				
READ/Return Information from projector									
Information	a = Power State	Off/On			n=1	~XX150 n	Okabbbbbbccdddee		
	b = LED Hour				a=0/1				
	c = Input Source Commands	None			bbbb				
		VGA			c=00				
		Video			c=02				
		HDMI1			c=05				
		HDMI2			c=07				
					c=08				
	d = Firmware Version				dddd				
	e = Display mode	None			ee=0				
		Cinema			ee=1				
		Bright			ee=2				
		Film			ee=11				
		Photo			ee=3				
		Reference			ee=4				
		User			ee=5				
		ISF Day			ee=7				
		ISF Night			ee=8				
		3D			ee=9				
	Model Name		Depends			a=0/1/2	~XX151 n	Oka	

付録

~	X	X	X	X	X	n	CR
	Projector ID		Command ID	space	variable	carriage return	
	RS232 Version No		Depends		n=1 a=???	~XX152 n	Oka
	Input Source Commands	None/VGA/Video/HDMI1/ HDMI2/Component			n=1	~XX121 n	Oka
	Software Version				n=1	~XX122 n	Okdddd
	Display Mode	None/Cinema/Bright/Photo/ Reference/User/ISF Day/ ISF Night/3D/Film			n=1	~XX123 n	Oka
	Power State	On/Off			n=1	~XX124 n	Oka
	Brightness				n=1	~XX125 n	Oka
	Contrast				n=1	~XX126 n	Oka
	Aspect Ratio	4:3/16:9/LBX/Native/Auto235/ Auto235_Subtitle			n=1	~XX127 n	Oka
	Color Temperature	D50/D65/D70/D75/D83/D93/ Native			n=1	~XX128 n	Oka
	Projection Mode	Front-Desktop Rear-Desktop Front-Ceiling Rear-Ceiling			n=1	~XX129 n	Oka
Remote Control							
	Up				n=10	~XX140 n	
	Left				n=11		
	Enter				n=12		
	Right				n=13		
	Down				n=14		
	Menu				n=20		
	Re-sync				n=41		

天井への取り付け

1. プロジェクタの損傷を防ぐため、必ずOptoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクタを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください:
 - ▶ ネジの種類: M6
 - ▶ 最大ネジ長: 12mm
 - ▶ 最小ネジ長: 10mm



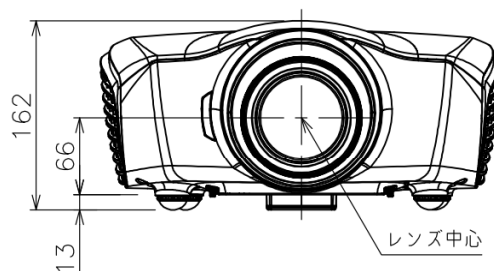
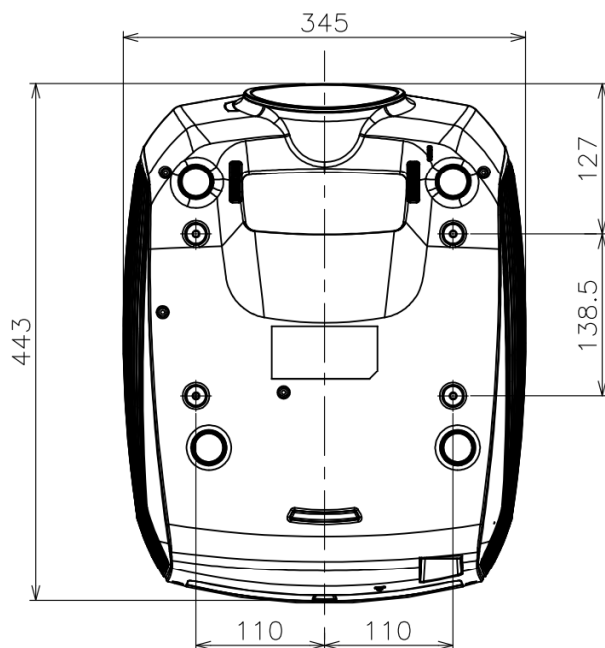
❖ プロジェクタを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



警告:

1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
2. プロジェクタの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
3. プロジェクタは、熱源の近くに設置しないで下さい。
4. 本体破損の原因となりますので、ねじの締付けは $1.17\text{N}\cdot\text{m}$ 以上の締付けトルクで行わないでください。また、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

単位: mm



Optoma社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

アメリカ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

カナダ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

中南米及びメキシコ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford
Business Park Watford,
Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
サービスダイヤル: +44 (0)1923
691865

 +44 (0) 1923 691 800
 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com

Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 820 0253
 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35
 savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro, 36 Of. 1C 28522
Rivas VaciaMadrid,
Spain

 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32

ドイツ

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

 +49 (0) 211 506 6670
 +49 (0) 211 506 66799
 info@optoma.de

スキャンディナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

 +47 32 98 89 90
 +47 32 98 89 99
 info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg. 33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

 +82+2+34430004
 +82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター: 0120-380-495

 info@os-worldwide.com
<https://www.os-worldwide.com/>

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスプラスe
コンタクトセンター: 0120-212-750

 e.info@os-worldwide.com
https://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

台湾

12F., No.215, Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw

 +886-2-8911-8600
 +886-2-8911-6550
 services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

 +852-2396-8968
 +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

 +86-21-62947376
 +86-21-62947375
www.optoma.com

規制と安全に関する通知

当付録はプロジェクト総則の一覧です。

FCC通告

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- ❖ 受信アンテナの再設定又は移動。
- ❖ 本装置と受信機の距離を離す。
- ❖ 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- ❖ 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会ですべて許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC15章に準拠しています。運転は、以下の2つの状況を前提とします：

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

当クラスBデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国への適合宣言

- EMC 指令2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。

商標

- DLP は Texas Instruments の商標です。
- IBMは、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS X、iMac、PowerBookは米国およびその他の国で登録された、Apple Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、PowerPointは米国およびその他の国における Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
- HDMI、HDMI LogoおよびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- このユーザズマニュアルに記載されたその他の製品と会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標の可能性があります。